

クラス		受験番号	
出席番号		氏名	

2012年度
第1回 全統記述模試問題
地理歴史・公民

2012年5月実施

(1科目 60分)

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

注 意 事 項

- 問題冊子は81ページである（世界史B 1～17ページ、日本史B 19～26ページ、地理B 27～43ページ、政治・経済45～61ページ、倫理63～81ページ）。
- 解答用紙は別冊になっている。（解答用紙冊子表紙の注意事項を熟読すること。）
- 本冊子に脱落や印刷不鮮明の箇所及び解答用紙の汚れ等があれば、試験監督者に申し出ること。
- 試験開始の合図で解答用紙冊子の地理歴史・公民の解答用紙を切り離し、下段の所定欄に**氏名**・**在・卒高校名**・**クラス名**・**出席番号**・**受験番号**（受験票の発行を受けている場合のみ）を明確に記入すること。なお、氏名には必ずフリガナも記入のこと。
- 解答には、必ず黒色鉛筆を使用し、解答用紙の所定欄に記入すること。解答欄外に記入された解答部分は、採点対象外となる。
- 試験終了の合図で上記4.の事項を再度確認し、試験監督者の指示に従って解答用紙を提出すること。

世 界 史 B

1 古代文明の発生と環境について述べた次の文章A～Dを読み、後の問い合わせ（問1～16）に答えよ。（配点 26点）

A ユーラシア大陸の気候は、前3500年頃、温暖であった時代が終わり、寒冷化の時代を迎えた。オリエント地方でも寒冷化にともない、乾燥化が進行したが、このことが牧畜民など多くの人々を大河のほとりに集めたため、エジプト・メソポタミアに古代文明が成立したとする学説がある。オリエントの大河流域では、大規模な灌溉施設が建設され王権を頂点とする専制国家が生まれた。生産性の高い農業技術はしだいにこれらの国家の周縁部にも広がり、地域の都市間には交易ネットワークが形成された。そうしたなかで優れた軍事技術を持つ国家が出現し、諸国家と交易ネットワークを統合して支配下に置くようになった。このようにして出現した a 帝国とペルシア帝国は、それぞれ都のニネヴェとスサを中心とする体制を整備し、オリエントの風土に根ざした独自の統治機構をつくりあげて「世界帝国」となった。

問1 下線部(1)に関連して、前2000年頃に襲った寒冷化の影響を一因として移動を始めたとされる、ヒッタイト人などに代表される語族の名称を記せ。

問2 下線部(2)に関連して、オリエント諸国家の専制政治について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① エジプトでは、ファラオと呼ばれた王が、太陽神オシリスの子として君臨した。
- ② 古バビロニアのハンムラビ王は、同害復讐の原則に基づく刑法を含んだ法典を定めた。
- ③ ウルやテーベといったシュメール人の都市国家では、楔形文字で王の統治が記録された。
- ④ エジプトのアメンホテプ4世は、アマルナに遷都し、唯一神アモンへの信仰を強制した。

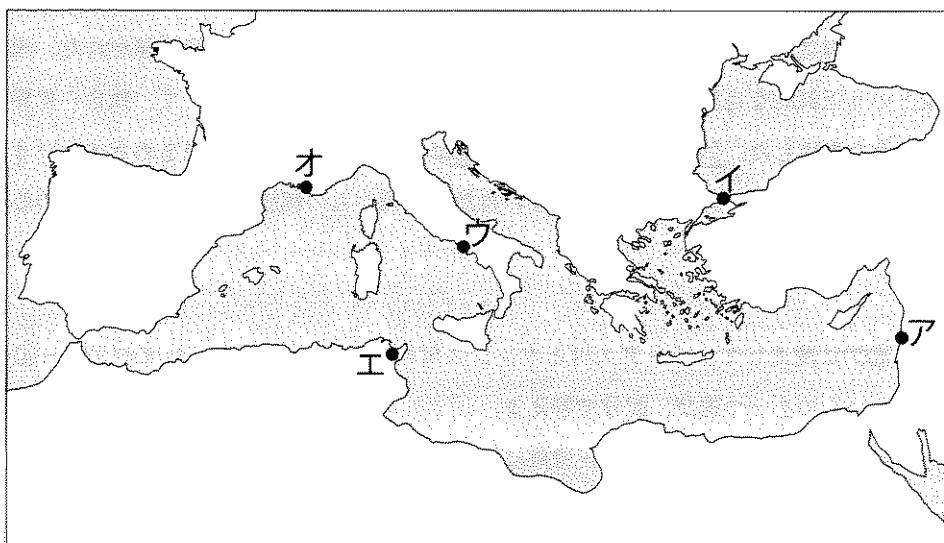
問3 文章中の空欄 a に入る最も適切な語句を記せ。

問4 下線部(3)に関連して、アケメネス朝ペルシアが、「王の道」などの主要幹線道路沿いに、情報伝達や移動を迅速に行うための宿場を設けた制度の名称を記せ。

B 東地中海の沿岸地方は船舶の接岸に適した地形が多く、古くから海上交易が行われた。ギリシア
 (4) 人は前8世紀以降、地中海に吹く風を利用して海上交易に参入し、バルカン半島南部や小アジアの
 沿岸地帯を中心に、多くのポリス・植民市を建設することによって一つの文明世界を形成した。ボ
 スフォラス海峡に面し、b
 (5) とエーゲ海とを南北に結ぶ役割を担ったビザンティオン、地中海を東西に分けるシチリア島のシラクサ、イタリア半島南部から南フランスにいたる航路上に位置
 したネアポリスやマッサリアといった植民市との間の安全な航海を願うギリシア人にとって、風は
 大きな意味を持った。
 (6) ギリシア神話には複数の風の神が登場するが、なかでも西風ゼピュロスは雪
 を溶かし、春を運ぶ神として尊ばれ、ルネサンス期の名画「ヴィーナスの誕生」にも描かれてい
 る。

問5 下線部(4)に関連して、地中海交易に活躍したフェニキア人の拠点について述べた次の文a・b
 に該当する都市の地図中の位置として正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選び、記号で
 答えよ。

- a. 現在のレバノン沿岸にあった海港都市で、前12世紀頃から繁栄し、前5世紀のペルシア戦争
 では、アケメネス朝の軍に参加した。
- b. 前9世紀にティルスの植民市として建設されたが、ポエニ戦争の結果、前2世紀にローマに
 よって滅ぼされた。



- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① a—ア | b—エ | ② a—ア | b—オ |
| ③ a—イ | b—エ | ④ a—イ | b—オ |
| ⑤ a—ウ | b—エ | ⑥ a—ウ | b—オ |

問6 下線部(5)に関連して、ギリシア人の政治・社会・文化について述べた次の文a～cについて、正誤の組合せとして正しいものを下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a. 主神ゼウスの祭典としてオリンピアで競技大会が開催され、この期間中は戦争行為の停止が求められた。
- b. アテネでは、古代民主政が完成し、ペリクレスが全ポリスのギリシア人に対してアテネ市民権を付与した。
- c. スパルタでは、市民の人口を上回る多数のヘイロータイ（ヘロット）を支配するため、厳格な軍国教育が行われた。

- ① a—正 b—正 c—誤 ② a—正 b—誤 c—正
③ a—誤 b—誤 c—正 ④ a—誤 b—正 c—誤

問7 文章中の空欄 **b** に入る最も適切な語句を記せ。

問8 下線部(6)に関連して、神話から離れて合理的に世界を理解しようとした自然学者で、万物の根源を原子（アトム）とした人物の名を記せ。

C 南アジアの古代文明は、雨季と乾季を繰り返す独特の気候のなかから生まれたとも考えられる。インド洋を通過する際に大量の水分を含んだ夏のモンスーン（季節風）は、インダス川やガンジス川の流域に猛烈なスコールを降らせ、それは古代文明にとって恵みの雨となった。**c** 教聖典『ヴェーダ』に登場するルドラ神は、甚大な災害をもたらす破壊の神であるとともに農作物の成長を助ける創造の神でもあり、この性格はヒンドゥー教のシヴァ神に受け継がれた。雨季と乾季の循環という圧倒的な自然の力に対する人間の無力を感じた人々は、やがて、独自の世界観として輪廻の觀念を形成した。仏教やジャイナ教の成立は、この輪廻からの解脱をめざすという意味で新しい思想的潮流の現れであり、抗しきれない自然の循環からの解放を願うアーリヤ人の心情が背景にあったとも考えられる。

問9 下線部(7)に関連して、インダス川とガンジス川の流域について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① インダス川下流域のハラッパー遺跡には、計画的な都市区画が確認される。
- ② アレクサンドロス大王の軍は、カイバル峠を越えてパンジャーブ地方に侵入した。
- ③ ガンジス川流域の王国のなかで、マカダ国を滅ぼしたコーサラ国が有力となった。
- ④ アショーカ王は、パートリップトラを都としてマウリヤ朝を建てた。

問10 文章中の空欄 **c** に入る最も適切な語句を記せ。

問11 下線部(8)に関連して、仏教とジャイナ教が、従来の身分秩序に対してとった共通の立場について、両宗教の開祖の名とともに、60字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

D 東アジアで中華世界が形成される出発点となったのは、高緯度の内陸乾燥地帯におこった黄河文明である。中国奥地のゴビ砂漠やオルドス地方から長い歳月をかけて偏西風によって運ばれた黄土は、養分と通気性・透水性に富み、黄河の流れによってその中・下流域に堆積することにより、穀物栽培を主とする新石器文化の土壤となつた。⁽⁹⁾ 以後、高い農業生産力が多く的人口を支えた黄河の中・下流域では、関中（渭水盆地）の d⁽¹⁰⁾、中原（黄河中流域）の洛陽という二つの都市が発展し、漢字・儒教など漢民族固有の文化も生まれた。⁽¹¹⁾ こうした黄土地帯は歴代王朝が興亡し、まさに中国古代史の舞台であった。⁽¹²⁾

問12 下線部(9)に関連して、黄河文明で主に栽培された穀物の組合せとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① 穀一黍 ② 稲一黍
③ 穀一トウモロコシ ④ 稲一トウモロコシ

問13 文章中の空欄 d は前漢の都となった。この都の名称を記せ。

問14 下線部(10)に関連して、中原地方の支配をめぐって諸国が抗争を続けた春秋・戦国時代で、霸者の地位を確立した桓公を君主とした国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① 春秋時代の齊 ② 春秋時代の越
③ 戰国時代の燕 ④ 戰国時代の楚

問15 下線部(11)に関連して、漢民族の文化について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 殷では、亀甲や獸骨などに文字が記され、その文字は漢字の起源となった。
② 德治主義を唱えた孔子は、血縁にとらわれない無差別の愛を説いた。
③ 蔡倫が改良した紙を用いて、司馬遷は歴史書『史記』を著した。
④ 後漢の光武帝は、朝貢してきた邪馬台国の使節に金印を与えた。

問16 下線部(12)に関連して、王朝交替を説明する理論として五行説が唱えられたが、火徳の漢王朝を倒すため、土徳の色を掲げて2世紀末に起こった反乱は何か。その名称を記せ。

2 3～7世紀のユーラシア世界に関する次の文章A～Cを読み、空欄 [] ～ [] に最も適切な語句を記入せよ。また、下線部(1)～(7)に対応する後の問い合わせ(問1～7)に答えよ。(配点 24点)

A ユーラシア西方では、地中海世界を統一していたローマ帝国が、2世紀末から動搖を始めた。3世紀には属州における反乱に加えて北方のゲルマン人や東方のササン朝ペルシアの侵入が続き、各地の軍隊が皇帝をたてて争う軍人皇帝時代となった。3世紀末に即位した [] 帝は、こうした混乱に対処するために2人の正帝と2人の副帝からなる統治体制をしき、自らは東の正帝として帝權の神格化をはかった。コンスタンティヌス帝は、[] 帝の改革路線を受け継ぎ、軍隊や行政機構の整備につとめた。また、東方の重要性をふまえて330年に都をビザンティウムに遷し、コンスタンティノープルと改称した。しかし、それでも帝国の動搖を抑えることはできなかった。375年、アジア系のフン人が東ゴート人を服属させると、翌年西ゴート人が [] 川を越えて帝国領内に侵入し、ここにゲルマン人の大移動が始まった。こうした情勢のなか、395年に、ローマ帝国は東西に分裂し、そのうち東ローマ帝国は以後1000年余り続いたが、西ローマ帝国は476年にゲルマン人傭兵隊長 [] によって滅ぼされた。西ローマ帝国滅亡後、東ローマ皇帝は唯一のローマ皇帝として、相西ローマ帝国領内に建てられたゲルマン諸王にもその権威が認められた。6世紀のユスティニアヌス帝は地中海帝国の復興をはかり、一時的に地中海の帝国領の大半を回復した。しかしユスティニアヌス帝の死後、東ローマ帝国による地中海世界の統一は解体していった。

B ユーラシアの東西交易ルートの要衝に位置するイランでは、3世紀前半、ササン朝ペルシアがパルティア王国を滅ぼして成立した。開祖アルダシール1世は、都を [] に置き、ゾロアスター教を国教に定めた。第2代の王シャープール1世は、東方ではクシャーナ朝を破って衰退させ、西方では、シリアに進出してローマ軍を破った。

一方、ユーラシア南方のインドでは、4世紀前半にグプタ朝が成立した。グプタ朝期は、インド古典文化の黄金時代で、サンスクリット文学が栄え、宮廷詩人カーリダーサは代表的な戯曲『 [] 』や叙情詩『メーガドゥータ』をはじめ、多くの傑作を残した。

5世紀半ば、モンゴル高原を支配したモンゴル系遊牧民の柔然は、タリム盆地に進出してオアシスの道の東半分も支配下に置き、北魏と対立した。一方、中央アジアの西方では、騎馬遊牧民エフトタルがオアシス都市を支配した。エフトタルはシルク＝ロードの西半分の交易をめぐってササン朝と抗争し、グプタ朝が統治する北インドにも侵攻した。

6世紀半ばになるとトルコ系騎馬遊牧民の突厥が草原地帯で勢力を強め、モンゴル高原の柔然を滅ぼした。ササン朝のホスロー1世は、突厥と結んでエフトタルを滅ぼし、東ローマ帝国との戦いも

優勢に進めた。しかし、ササン朝はホスロー1世の死後東ローマ帝国との抗争の激化によって消耗し、7世紀半ばイスラーム勢力によって滅亡に追いやられた。他方、エフタルの侵入によって衰退したグプタ朝は、6世紀半ばに滅亡した。その後、7世紀初め、ハルシャ王がガンジス川中流域に(4)朝を建てて北インドの大半を支配した。しかし、6朝はハルシャ王の死後急速に衰退し、滅亡した。

C ユーラシア東方の中国では、3世紀、漢帝国の滅亡により分裂状態に入った。三国時代を経て、(5)西晋が中国を統一したが、帝位をめぐる一族の争いである7が290年に起こって西晋の支配を揺るがし、この内乱のなかで兵力として活躍した遊牧諸民族の五胡が本格的に華北に侵入し、各地で蜂起した。その結果、西晋は五胡の一つである匈奴により滅亡し、翌年江南を拠点に東晋が成立した。

華北は、4世紀初め五胡を中心とする国々が興亡を繰り返す五胡十六国時代に入ったが、5世紀前半には、鮮卑の拓跋氏が建てた北魏によって統一された。6その後、北魏は6世紀には東西に分裂し、さらに東魏は北齊に、西魏は北周に倒され、北齊も北周に併合された。これら北魏以後の5王朝は北朝と呼ばれた。一方江南では、東晋の滅亡後、南朝と総称される短命な宋・齊・梁・8の4王朝が興亡した。

6世紀半ば、柔然に代わってモンゴル高原を支配した突厥は、北齊・北周を従属下に置くなど華北への影響力を強め、西方ではササン朝と結んでエフタルを滅ぼし、史上初めて中央ユーラシアの東西にまたがる地域を支配下に置いた。また、突厥はイラン系9人を商業活動や外交面に活用し、ササン朝や東ローマ帝国とも外交関係を持った。しかし、6世紀末、突厥は内紛により東西に分裂した。

突厥の東西分裂の頃、中国では、鮮卑の拓跋氏の一族ともされる北周の外戚楊堅（文帝）が隋を建てた。文帝は、南朝の8を滅ぼして、南北に分裂していた中国を統一し、中央集権化を(7)はかった。文帝の子10は、開発が進む江南と華北を結ぶ、物資流通の大動脈となる大運河を完成させた。また、しばしば周辺諸国に遠征軍を送ったが、高句麗遠征の失敗を契機に各地で反乱が起こり、隋は統一から30年ほどで滅亡した。この隋末の混乱のなかから、楊堅と同じ北周出身の李淵が唐を建てた。

問 1 下線部(1)に関連して、この人物について述べた次の文アとイを読み、ア・イがともに正しい場合は①、アのみが正しい場合は②、イのみが正しい場合は③、ア・イがともに正しくない場合は④を選び、記号で答えよ。

ア、純度の高い金貨を発行して、金貨を基軸通貨とする地中海交易の活発化をはかった。

イ、教義を統一するために325年に開催したエフェソス公会議では、アタナシウスの説が正統とされた。

問 2 下線部(2)に関連して、フン人の大王アッティラが西ヨーロッパに進出し、451年に西ローマ帝国・西ゴート・フランク連合軍に敗北した戦いの名称を記せ。

問 3 下線部(3)に関連して、この宗教の経典の名称を記せ。

問 4 下線部(4)に関連して、この王に厚遇を受け、ナーランダー僧院で学んだ唐僧の名を漢字で記せ。

問 5 下線部(5)に関連して、三国時代とその前後の時代に起こった次の出来事a～cが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、記号で答えよ。

a、赤壁の戦い

b、占田・課田法の制定

c、九品中正法（九品官人法）の制定

① a → b → c ② a → c → b

③ b → a → c ④ b → c → a

⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

問 6 下線部(6)に関連して、439年に華北を統一した北魏の皇帝の名を記せ。

問 7 下線部(7)に関連して、文帝が初めて実施した、試験によって広く人材を求める官吏任用制度の名称を記せ。

世界史Bの問題は次のページに続く。

3 ヨーロッパ世界とイスラーム世界の接触と交流について述べた次の文章を読み、空欄 **1** ~ **9** に最も適切な語句を入れ、下線部(1)~(8)に関連する後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 26点）

ローマ帝国のもとで成立した統一的な地中海世界は、7世紀頃より大きな変容を迫られ、8世紀にはローマ＝カトリックと **1** を基調とする西ヨーロッパ世界、ギリシア正教とギリシア語を基調とするビザンツ（東ヨーロッパ）世界、イスラーム教とアラビア語を基調とするイスラーム世界へと三分されていった。その契機となったのは、アラビア半島におけるイスラーム教の成立であった。

ムハンマドのもとで形成された教団国家は、ムハンマドの死後急速な拡大を見せ、およそ1世紀の(1)あいだにイランからアフリカ北岸、そしてイベリア半島の西ゴート王国を征服するなど版図を広げていった。さらに、ビザンツ帝国の都コンスタンティノープルにまでイスラーム軍が迫ることもあった。

ビザンツ世界を特徴付けるものに **2** がある。 **2** とは聖画像を示すギリシア語であるが、イスラームの進出で危機に陥っていたビザンツ帝国では、**2** 崇拝をめぐる宗教論争が起こっていた。事態の収拾をはかった皇帝レオン3世は、**2** の禁止を含む法令を発布したが、これによりローマ＝カトリック教会との関係が悪化することになった。一方、イベリア半島のイスラーム勢力はガリアにまで進出していたが、**2** (2) フランク王国はこれを撃退したことで、西ヨーロッパにおけるキリスト教世界の守護者としての地位を固めた。ローマ教会はフランク王国に接近し、カロリング朝の成立を支持することで、その支配に宗教的な正統性を付与した。その後、西ヨーロッパの政治的統一を成し遂げたカール1世に対し、教会がローマ皇帝として加冠したことで、両者の結びつきはさらに深まることになった。カールは古代の **1** 文獻を復興させる「カロリング＝ルネサンス」を進めたほか、**3** 山脈の南に拠るイスラーム勢力と争った。その後、この故事を扱った中世の騎士文学として『**4** の歌』が成立することになった。

イスラーム勢力の急速な拡大の要因は、その軍事力だけでなく被征服民の信仰を尊重する姿勢にも(3)あった。このことはそれまで宗教的に抑圧されていた人々が、イスラームの支配にむしろ帰順するという結果をもたらしたのである。こうして各地の民族的・宗教的多様性を尊重する一方で、征服地には共通の特徴を有したイスラーム風の都市が形成され、コーランの言語であるアラビア語が文化的共(4)通語になっていくなど、統一的なイスラーム世界が形成されていった。

ヨーロッパとイスラームの軍事的衝突は、両者の交流を完全に閉ざしたわけではなかった。イスラーム勢力による地中海征服は、従来までの地中海交易を停滞させたかもしれないが、両世界の交易は小規模ながら継続していた。アッバース朝のハールーン＝アッラシードがフランク王国のカール1世に使節団を送った記録では、象・香辛料・薬物など様々な品物が持ち込まれた様子が記されている。また、ハールーン＝アッラシードの息子マームーンの治世に建てられた「知恵の館」では、ネストリ

ウス派キリスト教徒の翻訳官のもとで、哲学者 5 や医学者ガレノスらの文献がギリシア語からアラビア語へと翻訳された。その際、時にはビザンツ帝国で写本を購入して史料の校訂を行うなど、かなり正確な翻訳作業が推進された。

西ヨーロッパでは、カール1世の死後に内紛が起こり王国が分割相続されて版図が三分された。⁽⁵⁾ 加えてイスラーム教徒やノルマン人・マジャール人などの外敵に絶えず脅かされるなかで、西ヨーロッパは農業社会に移行していった。そのため、イスラーム世界と異なり都市網は衰退していたが、11世紀頃から農地を秋耕地・春耕地・休閑地に分けて三年で一巡させる 6 制や、鉄製有輪犁の普及などにより農業生産力が高まり人口も増加した。⁽⁶⁾ ヨーロッパ各地に修道院や教会のネットワークが形成され、集村化を背景に教区教会が整備されるようになった。こうして農村にまでキリスト教が浸透し、信仰心が植え付けられたことを背景に巡礼熱が高まり、とりわけローマ・イエルサレム・サンティアゴ=デ=コンポステラは三大巡礼地として人気を集めた。

西ヨーロッパの人々は、4 がイスラームとの戦いの果てに戦死したと語られる 3 山脈のロンスヴォー峠を越え、イベリア半島の北西端、聖ヤコブの遺骸があるとされるサンティアゴ=デ=コンポステラをめざし巡礼の旅に出た。巡礼者の往来は途上の宿場町を発展させ、カスティリャ王国の財政充実にも寄与することになった。イベリア半島におけるレコンキスタは本格化し、11世紀後半には西方イスラーム文化の中心都市 7 がカスティリャにより征服された。また、西ヨーロッパ・ビザンツ・イスラームの三世界が交差するシチリア島では、諸勢力の角逐が続いていたが、12世紀前半にノルマン人のルッジェーロ2世が両シチリア王国を建てた。ルッジェーロは統治の協力者としてムスリムやギリシア正教徒も登用したため、この地では諸宗教の共存が進んだ。例えば、イスラームの地理学者イドリシーもルッジェーロの宮廷で活躍した人物の一人である。

1 やシチリア島のパレルモなどでは、アラビア語から 1 への翻訳活動が盛んに行われた。これにより、イスラーム世界の文献が、西ヨーロッパ世界へともたらされた。例えば、イブン=ルシードによって継承された 5 の哲学は、西ヨーロッパのトマス=アクィナスによるスコラ哲学の大成に寄与した。イスラーム医学は南イタリアにあるサレルノ大学などに影響を与え、イスラームの医学者・哲学者 8 の著作である『医学典範』は、西ヨーロッパの大学でも医学部の教材として用いられた。こうした一連の文化的興隆は「12世紀ルネサンス」とも称されるが、それにはイスラーム世界との交流が不可欠だったのである。

イスラーム世界では、11世紀後半にセルジューク朝がイエルサレムを占領する一方、小アジアに進出してビザンツ帝国を圧迫した。ビザンツ皇帝がローマ教皇に援軍を要請すると、11世紀末に 9 宗教会議（公会議）が開催され、まもなく十字軍運動が開始された。それにともなってイタリア商人の商業圏が東地中海にまで広がり、東方貿易が盛んになった。

その後の小アジアでは、13世紀末よりオスマン帝国が興起し、バルカン半島に進出した。イベリア半島とは反対に、バルカン半島ではイスラーム勢力がキリスト教勢力を征服していき、15世紀半ばに (8)

ビザンツ帝国を滅ぼしたことで、ビザンツ世界はイスラーム世界に包含された。この前後で一部の知識人がイタリアに活動の場を求め、イタリア＝ルネサンスに寄与していった。

問1 下線部(1)に関連して、イスラーム教徒による異教徒に対する「聖戦」をアラビア語で何というか。その名称を記せ。

問2 下線部(2)に関連して、732年にウマイヤ朝の進出をフランク王国が阻止した戦いの名称を記せ。

問3 下線部(3)に関連して、イスラームの異教への態度や異教徒の扱いについて述べた次の文Aとイの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

A. イスラーム教の唯一神アッラーは、先行するユダヤ教やキリスト教の神と同一神であるとされ、またモーセやイエスも預言者とみなされた。

イ. イスラーム統治下の「啓典の民」はズィンミーと称され、税を納めればその信仰が認められた。

① アー正 イー正

② アー正 イー誤

③ アー誤 イー正

④ アー誤 イー誤

問4 下線部(4)に関連して、イスラーム世界の各都市に置かれた隊商宿を何というか。その名称を次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

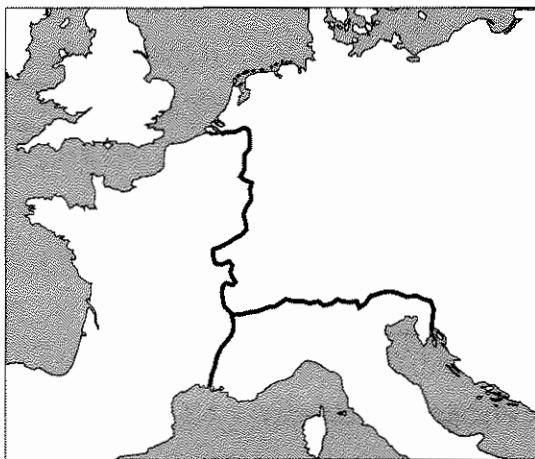
① バザール

② キャラヴァンサライ

③ ワクフ

④ ミスル

問5 下線部(5)に関連して、地図中の境界線が画定された条約名を記せ。



問6 下線部(6)に関連して、10世紀初頭にフランスに創建され、教会刷新運動で中心的役割を果たした修道院の名称を記せ。

問7 下線部(7)に関連して、11世紀の末にいたるまでセルジューク朝の宰相として活躍し、各地に学院（マドラサ）を建てた人物の名を記せ。

問 8 下線部(8)に関連して、1389年のコソヴォの戦いで、オスマン帝国のスルタンであるムラト1世を死に追いやったものの、オスマン帝国に軍事的敗北を喫した国は何か。その名称を次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① セルビア王国 ② ポーランド王国 ③ ベーメン王国 ④ キエフ公国

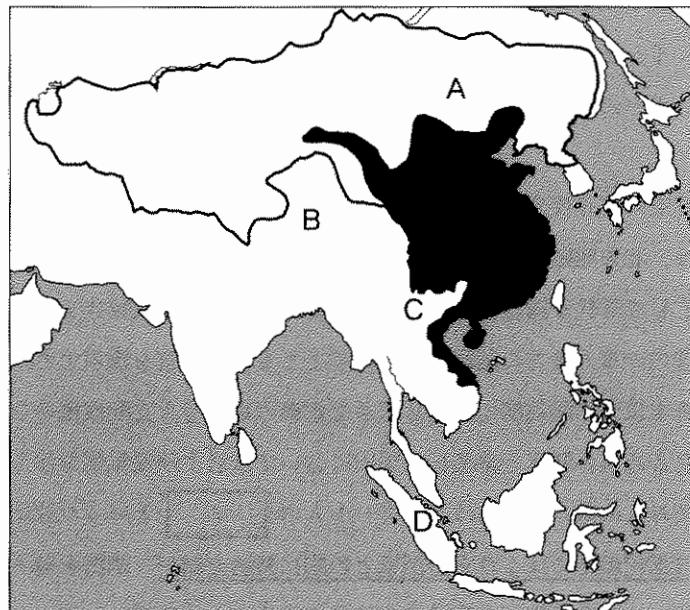
4 中国史上の人物とその時代について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い合わせ（問1～17）に答えよ。（配点 24点）

A 唐の末期、9世紀後半に約10年間にわたる大農民反乱がこの王朝をおそった。この反乱の指導者は、黄巢という塩の密売商人であった。一介の塩の密売商人が起こした反乱が、中国全土に広がり、約10年にもわたる大農民反乱となったのはなぜだろうか。

8世紀後半、唐は **1** の戦いでアッバース朝に敗れて中央アジアから後退し、ついで起こった安史の乱はかろうじてこれを鎮圧したが、これらにより従来の唐を頂点とする東アジアの国際秩序は動搖し始めた。⁽²⁾ また、安史の乱後、節度使は内地にも設置されるようになり、それらはしだいに地方において自立化し、藩鎮と呼ばれ地方政権化していった。建国以来、唐の支配体制の基礎は、国家による個別人身把握にあり、均田制・府兵制・租庸調制はこれに基づいていた。しかし、⁽³⁾ 唐代の経済発展は農民層の分化をもたらし、租庸調や軍役負担に耐えきれなくなった農民は逃亡し、これら諸制度は行き詰まりを見せていた。こうした状況に対応し、租庸調制に代わる税制として導入された **4** は、事実上大土地所有を公認することになり、また、当時の農業技術の発展を反映して夏・秋2回の収穫期に課税し、錢納を原則とした。さらに税収入を補うために專賣制が採用され、塩は原価の数倍以上で販売されて国家の財政を大きく補った。中央では、「牛李の党争」と称される貴族勢力や新興の地主勢力が入り混じった党争が展開されるなど混乱し、こうした状況が人々の暮らしを苦しめていた。塩の「密売」は往々にしてこうした社会に不満を持つ任侠の人によって行われた。これが黄巢の乱が大農民反乱へと発展した背景であった。黄巢の乱は鎮圧されたが、その後、唐は10世紀初めに滅亡し、中国はいわゆる五代十国と呼ばれる混乱期を迎えることになった。

問1 文章中の空欄 **1** に入る最も適切な語句を記せ。

問2 下線部(2)に関連して、次の地図は唐代のアジア世界をあらわしている。地図中のA～Dの地域に唐と同じ時期に存在した国について説明した下の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。



- ① Aの地域では8世紀半ばにウイグルが強盛となっており、安史の乱の反乱軍と連携して唐に侵入し、唐を苦しめた。
- ② Bの地域にはソンツェン＝ガンポによって7世紀に建国された吐蕃があり、インドや中国から文化を受容した。
- ③ Cの地域には8世紀にタイ人が建てた大理国があり、モンゴルの侵入を受けて滅亡した後に南詔国が成立した。
- ④ Dの地域ではシャイレンドラ朝が起こり、上座部仏教の建築物としてボロブドゥールが造営された。

問3 下線部(3)に関連して、均田制と府兵制を創始した王朝の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | |
|-------|---|----|-----|---|----|
| ① 均田制 | — | 東魏 | 府兵制 | — | 北魏 |
| ② 均田制 | — | 北魏 | 府兵制 | — | 東魏 |
| ③ 均田制 | — | 西魏 | 府兵制 | — | 北魏 |
| ④ 均田制 | — | 北魏 | 府兵制 | — | 西魏 |

問4 文章中の空欄 4 に入る最も適切な語句を記せ。

問5 下線部(5)について述べた次の文ア・イの正誤の組合せとして正しいものを下の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 後晋はその建国に際し、契丹の援助を受けて燕雲十六州を割譲した。

イ. 五代の都はいずれも大運河と黄河の結節点である開封に置かれた。

① アー正 イー正

② アー正 イー誤

③ アー誤 イー正

④ アー誤 イー誤

B 11世紀後半、北宋の第6代皇帝 6 は王安石を登用し、新法と呼ばれる一連の改革を行わせた。その改革は、北宋建国以来の政策の行き詰まりを背景とする。北宋が建国されたのは10世紀後半で、唐が滅亡して五代十国と称された軍人政権が割拠する混乱時代を経てのことであった。そのため北宋では国内の軍人勢力の削減につとめるとともに、文官を重用した。いわゆる文治主義であるが、これは唐末以来の混乱期に台頭してきた新興の地主層を支配機構のなかに取り込む意図もあった。さらに皇帝直属の禁軍を整備し、国内においては君主独裁体制を作り上げた。しかし、対外的には北方に契丹人の遼、西方にはタングート人の 7 といった諸国家が強盛となってその圧迫を受け、11世紀前半にはこれらの国家との間に盟約を結び、歳幣を贈ることで平和を維持せざるを得なかった。⁽⁸⁾ つまり王安石が登場する11世紀後半という時期は、北宋が増大する人件費や歳幣によって生じた財政難への対応と、軍事力強化の必要に迫られていたのである。ゆえに王安石の新法の目的は富国強兵にあった。しかし、彼の行った改革は保守派官僚らの反対にあい、6 の没後にことごとく廃止されてしまう。これは当時の官僚の多くが新興地主層を母体としており、(9) 彼らはまた一面では貧しい農民や商人に貸し付けを行って利益を得る高利貸しでもあったため、⁽¹⁰⁾ 新法は彼らの利益を損なうことになったからであった。⁽¹¹⁾ 結局、その後の北宋では新法党と旧法党の党争が展開され、12世紀前半に新たに興った金によって都の開封を奪われて滅亡した。

問6 文章中の空欄 6 に入る最も適切な人名を記せ。

問7 文章中の空欄 7 に入る最も適切な語句を記せ。

問8 下線部(8)について、遼との間に結ばれた盟約について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 慶曆の和約といい、宋を兄、遼を弟とした。
- ② 潼淵の盟といい、宋を兄、遼を弟とした。
- ③ 慶曆の和約といい、宋を主君、遼を臣下とした。
- ④ 潼淵の盟といい、宋を主君、遼を臣下とした。

問9 下線部(9)に関連して、こうした地主たちの土地を耕作した小作人のことを何と呼ぶか、その名称を記せ。

問10 下線部(10)に関連して、新興地主層の利益を損なったとされる改革のうち、中小農民に対して低利での貸し付けを行うことを定めた法の名称を記せ。

問11 下線部(11)に関連して、この党派を主導した司馬光が著した編年体の歴史書の名称を記せ。

C 北宋の滅亡後、欽宗の弟高宗は江南にのがれて南宋を建国した。⁽¹²⁾ 北宋末から南宋初期にかけて活躍した秦檜は中国では売国奴・奸臣の典型とされている。彼は北宋の滅亡に際し、欽宗や上皇徽宗とともに金に連行され、のちに帰国を許された。その後の彼は南宋の宰相として金と南宋の共存のため、金との和平を進め、主戦派の岳飛らをおさえこんだ。金との講和は1142年に成立したが、それは **13** を国境とし、毎年莫大な贈物を金に送るとともに、南宋が金に臣下の礼をとることが規定された屈辱的なものだった。このことは南宋の人々の中華意識を刺激し、こうした情勢が背景となって、朱熹によって確立された朱子学では、異民族と漢民族を区別する華夷の別や君臣・父子の別を説く大義名分論などが強調された。秦檜のとった外交政策は当時の人々にとっては受け入れ難いものであったが、一方で南北朝時代以来の江南地方の経済発展はいっそう進んだ。⁽¹³⁾ とくに長江の下流域は農業生産が向上し、「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」と称されるほどになり、南宋の経済を支えた。また唐代に比べて商業に対する国家的規制が緩んだこともあって商業が活発になり、⁽¹⁴⁾ 経済都市が発展した。さらに商品経済の発展は海外との交易を活発化させ、⁽¹⁵⁾ 木造帆船の改良や羅針盤の開発もあって中国商人は南シナ海へと進出した。唐代では海外貿易を管理する市舶司が広州のみに置かれていたのに対して宋代には泉州や明州などにも置かれた。屈辱的な講和を締結し、宦官や外戚と結んで権勢をほしいままにした秦檜への批判もあるが、講和によって得られた平和のもとで南宋が繁栄したことを考えると、彼の果たした役割は小さくはない。

問12 下線部(12)に関連して、南宋の建国後、その都は現在の杭州に置かれた。当時の都の名称を記せ。

問13 文章中の空欄 **13** に入る河川の名称を記せ。

問14 下線部(14)に関連して、朱熹はそれまでの儒学で「五經」が重視されていたことに対し、これに加えて「四書」を重視した。この「四書」のうち、孔子の言行録とされているものは何か。その名称を次の①～④のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ① 『大学』 ② 『論語』 ③ 『春秋』 ④ 『楚辭』

問15 下線部(15)に関連して、長江下流域の農業生産を発展させることになった農業分野における新たな動きについて、具体的な事例を挙げて40字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

問16 下線部(16)に関連して、宋代の社会・経済・文化について述べた次の文①～④のうちから、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ① 喫茶の風習の普及などもあり、陶磁器の生産が盛んになって景德鎮が栄えた。
② 城壁の外や交通の要地に草市・鎮などとよばれる商業の中心地が発生した。
③ 銅錢の流通に加えて、交子や会子といった紙幣も使用されるようになった。
④ イランからミニチュールの技法が伝わり、院体画などの絵画が発展した。

問17 下線部(17)に関連して、隔壁に仕切られた堅牢な構造の船倉と、蛇腹式の帆を持つこの外洋船の名称を記せ。

日本史の問題は次ページから始まる。

日本史 B

1 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～10）に答えよ。（配点 20点）

1946年、群馬県岩宿で氷河時代に堆積した関東ローム層から打製石器が発見され、旧石器時代の日本に人間が存在した痕跡が確認された。⁽¹⁾この時代の人々は、打製石器などを用いてオオツノジカやナウマン象などの大型動物を捕えて食料としており、獲物を求めて一定の範囲内を移動しながら生活していたとみられる。

今から1万年余り前に気候が温暖化した結果、海面が上昇して日本列島は大陸と切り離され、動植物など自然環境も大きく変化した。⁽²⁾人々は新たな道具を生みだしてこれに対応し、シカやイノシシなどの中小動物や魚介類、木の実に代表される植物性食料など、多様な食料を獲得できるようになり、しだいに定住して生活するようになった。各地の集落跡からは遠く離れた地域でしか採取されない石材を使用した石器などが発見され、遠隔地との交易がさかんに行われていた様相をうかがい知ることができる。また、竪穴住居の規模や構造、墓の規模や副葬品に大差がないことから、縄文時代は、階級差のない平等な社会であったと考えられている。

紀元前5～4世紀頃の縄文時代晩期に水稻耕作がもたらされ、九州北部に水田が出現した。⁽⁴⁾稲作は弥生時代には急速な広がりをみせ、北海道と南西諸島を除く日本列島の大部分の地域は、採集経済の段階から生産経済の段階へと移行していった。⁽⁵⁾農耕社会が成熟していく中で、生産力の向上とともに余剰生産物が蓄積できるようになり、人々の間で貧富の差が現れ、それはやがて身分の差・階級の差へと転じていった。また、灌漑用水施設の造成をはじめとして、水稻耕作の各種の作業にはそれぞれにみあった道具が必要であり、年間を通じて労働力を集約的に投下する必要があった。こうした治水・灌漑・農耕などの共同作業を通じて、各地に首長に統率された地域集団が形成され、各集団は水利⁽⁷⁾・耕地・生産物などをめぐって抗争をくりひろげ、しだいに小国が形成されていった。そして、さらに抗争が繰り返されるなかで、より強力な権力をもつ首長が成長していった。

弥生時代後期になると、鉄の刃先をつけた鍬の使用が拡大するなど農具の鉄器化がすすみ、地下水位が低く灌漑施設を整えた田である（⁽⁸⁾）の造成につながった。その後、古墳時代には、ヤマト政権やその配下の地方豪族が、鉄製農工具の占有、ため池などの大規模灌漑施設の造成、灌漑水利権の掌握、民衆の労働力編成を背景に、計画的大規模土地開発を推進した。5世紀以降には、鉄製のU字形の刃先をもつ鍬や鍬などが普及し、これまで未開拓であった土地まで水田をつくることができるようになり、農業生産は飛躍的に発展した。こうしたなかで6世紀になると有力農民層が成長し、小規模な円墳を築造するようになった。農業生産力の著しい向上は、古墳時代の社会のあり方に大きな影響を与えつけた。⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾

問1 下線部(1)に関して、氷期と間氷期とが交互におとされたこの時期を地質学では何とよぶか。漢字3字で答えよ。

問2 下線部(2)に関して、海水が湾の奥深くまで浸入した結果、漁労が活発となつたが、釣針や鈎などに用いられた漁労具は、その素材から総称して何とよばれているか。

問3 下線部(3)に関して、石鍛などに使用された黒曜石の産地として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 和田岬 イ 十勝岳 ウ 神津島 エ 姫川

問4 下線部(4)に関して、縄文時代晩期から弥生時代初期にかけての水田跡が発見された福岡県の遺跡の名称を答えよ。

問5 下線部(5)に関して、北海道や南西諸島ではそれぞれ食料採集文化が展開したが、そのうち南西諸島で続いた文化は何か。

問6 下線部(6)に関して、次の①～④の写真に示されている遺物に関して述べた文のうち、稻作に関係する道具の説明として正しいものを、下のア～エから一つ選んで記号で答えよ。



- ア ①は水田の表面を平均にならす時に用いられた。
イ ②は土を掘るための石器で、水田を耕す時に用いられた。
ウ ③は稲穂をつみとる石器で、打製と磨製の両方があった。
エ ④はもみがらを穀粒から取り去る脱穀に用いられた。

問7 下線部(7)に関して、香川県の紫雲出山遺跡に代表されるような、瀬戸内海沿岸を中心とする西日本に多く分布する、戦争に備えた集落を、その立地から一般的に何とよぶか。漢字5字で答えよ。

問8 空欄（ 8 ）に該当する語句を答えよ。

問9 下線部(9)に関して、追葬が可能な円墳の内部構造を何というか。漢字5字で答えよ。

問10 下線部(10)に関して、古墳時代の人々の社会や生活に関して述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 群馬県三ツ寺I遺跡からわかるように、豪族らは環濠をもつ居館を営んでいた。
イ 積穴住居の壁ぎわには、つくりつけの炉が設けられるようになった。
ウ 秋に新穀を神に供えて収穫を感謝する祈年祭など、農耕儀礼が行われた。
エ 鹿の骨を焼いて吉凶を占う盟神探湯など、呪術的な風習が行われた。

2 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～14）に答えよ。（配点 30点）

古代の東アジア世界では中国を中心とした国際秩序が形成されており、周辺諸国の王は中国に朝貢して皇帝から官号などを得ることによって外交関係を結んでいた。倭（ヤマト政権）では、5世紀前半から五人の王が相次いで中国南朝に朝貢していた。例えば、倭王武が「使持節都督倭・百濟・新羅⁽¹⁾・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事（2）倭国王」の官号・爵位を南朝の宋の皇帝に奏請したように、そのねらいは、倭国だけでなく百濟・新羅などを含む朝鮮半島における軍事的指揮権を承認されることによって、朝鮮半島進出を有利に進めることにあったのである。倭の五王の奏請は漸次認められていったが、百濟に対する軍事指揮権は、結局、最後まで認められなかった。倭王武の朝貢以後、中国への遣使はみられなくなり、倭は中国中心の国際秩序から離脱する道を選択したものと思われる。

しかし、6世紀の朝鮮半島における動静を前提として、倭は、中国との国交再開へむけて動き出すことになる。倭が朝鮮半島における拠点を設けていた伽耶諸国⁽³⁾が、6世紀中頃に、新羅⁽⁴⁾によって併合されてしまったのである。6世紀末に隋が中国を統一すると、倭は伽耶の回復をねらって新羅出兵を計画しつつ、600年に最初の遣隋使を派遣した。⁽⁵⁾ついで607年の遣隋使において、倭は隋と「対等」関係にあることを示す国書を送った。この国書は隋の皇帝（6）の不興をかったものの、隋と高句麗が対立していたこともあり、倭と隋の国交断絶にまでは至らなかった。このようななか倭は隋と交流をもち、大陸の先進的な文化の導入をはかろうとした。⁽⁷⁾

高句麗遠征に失敗した隋が滅び、唐が成立すると、倭は630年に（8）を遣唐使として派遣し国交を結んだ。7世紀中頃に唐が朝鮮三国を圧迫すると、朝鮮三国では集権化をすすめる改革やクーデタが起こった。これをうけて倭国内にも改革の機運が高まり、645年の乙巳の変⁽⁹⁾からはじまる一連の「大化の革新」が断行された。7世紀半ばになると唐は新羅の要請を受け入れて新羅と連合を組み、唐・新羅連合軍は660年に百済を滅ぼした。百済からの救援要請をうけて倭は出兵を実行するが、663年の（10）の戦において唐・新羅連合軍に大敗した。この敗戦を契機に倭は、国防強化と国制整備を進めた。

天武・持統朝では遣唐使は派遣されなかっただが、8世紀初頭、律令の制定⁽¹²⁾にともない、唐に対する遣使も再開された。再開直後の使節は、独自の法典を編纂し独自の年号を定めたことから、国号を「日本」と自称した。以後の遣唐使は、外交上の摩擦を回避するため、朝貢の姿勢をとり従属の意思を示した。一方、小帝国を自認する日本は、新羅を従属国として扱ったため、日本と新羅の関係はしばしば緊張した。やがて8世紀後半以降唐が衰退すると、東アジア世界における国際秩序も弛緩し、日本と東アジア諸国との関係は、外交から経済活動中心の交渉に推移していった。

問1 下線部(1)に関連して、倭王武に比定される人物を「天下治めす…大王」と表現した銘文をもつ鉄刀が出土した熊本県の古墳を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 箸墓古墳 イ 江田船山古墳 ウ 稲荷山古墳 エ 大仙陵古墳

問2 空欄（ 2 ）に該当する語句を答えよ。

問3 下線部(3)に関連して、512年に倭は百濟による伽耶西部支配を容認したが、後にそのことを批判され失脚した人物は誰か。

問4 下線部(4)に関連して、伽耶へ侵攻する新羅をくいとめるために編成された倭の遠征軍に対し、527年に新羅と結んで反乱を起こし出兵を阻もうとした筑紫の豪族は誰か。

問5 下線部(5)に関連して、この時の遣使の教訓として、豪族の序列の可視化が進められることとなつたが、推古朝に制定され、後の位階制の原点となった制度は何か。

問6 空欄（ 6 ）に該当するのは誰か。

問7 下線部(7)に関連して、大陸の先進文化の導入においては、渡来人による大陸の文化・技術の招来も貢献していた。そのようにして招来された技術は氏寺の建立にも生かされたが、聖徳太子創建といわれる現在の大坂市に所在する寺院は何か。

問8 空欄（ 8 ）に該当する人物で、最後の遣隋使としても派遣されたのは誰か。

問9 下線部(9)について、乙巳の変を経て成立した新体制において高向玄理と旻が就任した役職は何か。

問10 空欄（ 10 ）に該当する語句を答えよ。

問11 下線部(11)について、国防強化の一環として大宰府北方に築かれた大規模な堤防は何か。

問12 下線部(12)について、中央政府の財源となる税目について、その名称を2つ指摘しつつ、課税対象と賦課の方式を中心に40字以内で説明せよ。

問13 下線部(13)について、8世紀の日本と唐との関係について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 遣唐使の航路は当初東シナ海を横断する南路が用いられたが、後に北路に変更された。
イ 吉備真備や玄昉といった留学生や学問僧により、唐の政治制度や文化がもたらされた。
ウ 唐から鑑真が来日し戒律を伝えるなど、来日した中国僧は日本仏教の発展に寄与した。
エ 正倉院には、西アジア・南アジアの影響がうかがえる、唐からの渡来品も収蔵されている。

問14 下線部(14)に関連して、753年の唐の元日朝賀の儀式の場で、新羅よりも日本の席次が下位であることに抗議し席次を交代させる事件があった。この時の遣唐大使で、その後唐で客死した人物を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 阿倍仲麻呂 イ 橘逸勢 ウ 山上憶良 エ 藤原清河

③ 次の文章を読んで、下の問い合わせ（問1～10）に答えよ。（配点 20点）

桓武天皇は、南都の仏教勢力の政治への介入を避けるため遷都を行ったが、国家鎮護のための仏教⁽¹⁾は不可欠と考えていた。そこで桓武は、新たな鎮護国家仏教の担い手としての役割を、山林修行を遂げて呪力を得た僧侶に期待し、彼らを称揚し保護した。こうした時代状況のもとで、とりわけ桓武の期待をうけた最澄は唐に留学し、天台山の巡礼を果たして帰国し、天台宗を開いた。最澄とともに渡唐した留学僧の中には空海もいたが、彼は青龍寺の惠果のもとで真言密教を学び、最澄より1年遅れて帰国し、真言宗を開いた。密教とは秘密の呪法を用いて悟りを開こうとするもので、空海が密教について深く学んだことは、その後の平安時代の仏教の展開を決定づける大きな要因となった。

最澄が帰国後半年余りで彼の庇護者であった桓武天皇を失い、その勢いに翳りを見せたのに対し、空海は、密教に関する豊富な知識に加えて、詩文や書の能力もあり、唐風文化を尊ぶ嵯峨天皇の保護⁽²⁾を受け、宮廷社会における真言宗の地位を高めた。そうしたなか、最澄は、比叡山延暦寺の充実を図るべく、⁽³⁾南都仏教から独立した独自の戒壇を設けようとしたが、朝廷がこれを認めたのは最澄の死後であった。一方、空海は、南都の寺院とも協調関係を保持しており、東大寺に真言院を建立して鎮護国家のための修法を行い、さらに嵯峨天皇から平安京内に（4）を与えられた。貴族が加持祈禱による現世利益を求めたこともあり、空海は（5）を拠点に密教を浸透させていった。こうした状況に刺激を受けて、天台宗でも円仁・円珍らによって密教化が進められ、密教は平安時代の仏教の主流となっていった。

摂関期に入っても、密教は現世利益を求める貴族の支持を得ていたが、これとは別に現世の不安から逃れようとする人々の間には、阿弥陀仏の導きで来世において極楽浄土へ往生することを願う淨土教が広まっていった。10世紀中ごろには（6）とよばれる民間布教者があらわれ、たとえば空海は平安京の市で民衆に念佛を勧めるとともに、貴族に対しても教化活動を行った。10世紀後半に、比叡山横川に隠棲した天台僧（7）が『往生要集』を著わし、極楽往生へと至る作法などを述べて淨土教を体系化すると、この教えは貴族の心をとらえていった。さらに、（8）思想が淨土教の流行に拍車をかけた。盜賊や暴力が横行し災厄が頻発した世情が（9）の世の状況にあてはまると考えられ、貴族たちは、来世における救済を願って極楽浄土や阿弥陀仏の姿を思い浮かべつつ念佛を唱えたのである。貴族は、そうした信仰の助けとするため、この世に極楽浄土を現出させようと盛んに阿弥陀堂を建立して阿弥陀仏を本尊として安置した。現世において栄華を極めた藤原道長も淨土教を篤く信仰し、その邸宅である土御門邸の近くに壮麗な法成寺を建立して、阿弥陀堂には九体の阿弥陀仏を安置した。『（10）』には、法成寺の壮麗な姿が美辞麗句を用いて記されている。法成寺は現存しないが、道長の子頼通が宇治に建立した平等院鳳凰堂も極楽を模したものと考えられ、当時、「極楽いふかしくば、宇治の御寺をうやまえ」と世間にうたわれていた。その後、淨土教は、（6）の布教により地方へと広まり、院政期には地方豪族もさかんに阿弥陀堂を建立した。

問1 下線部(1)に関して、長岡京造営の責任者で、遷都に反対する勢力によって暗殺された人物は誰か。

問2 下線部(2)に関して、空海の漢詩・上表文・書簡などを集めて編纂されたものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 懐風藻 イ 菴家文草 ウ 凌雲集 エ 性靈集

問3 下線部(3)に関して、最澄の戒壇設立の動きに反対を唱えた南都の仏教勢力に対して、最澄が反論を展開した著作を、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

ア 三教指帰 イ 顯戒論 ウ 十住心論 エ 山家学生式

問4 空欄（ 4 ）に該当する寺院は何か。

問5 下線部(5)の円仁が、密教を学ぶために唐に渡ってから帰国するまでの体験を記した日記は何か。

問6 空欄（ 6 ）に該当する語句は何か。漢字1字で記せ。

問7 空欄（ 7 ）に該当する僧は誰か。

問8 空欄（ 8 ）に該当する語句は何か。

問9 下線部(9)に関して、定朝が完成させた仏像製作の手法は、大量生産を可能にし、貴族層からの仏像の需要に応えたが、この手法は何か。

問10 空欄（ 10 ）に該当する著作で、藤原道長を主軸に据えその生涯を肯定的に描いた点が特徴的とされる、赤染衛門の作といわれる編年体の歴史物語は何か。

4 次のA～Eの文章を読んで、下の問い合わせ（問1～13）に答えよ。（配点 30点）

- A 有力御家人であった 1 は、娘婿の2代将軍源頼家と結び、北条時政の排斥を画策したが、逆に時政によって一族とともに滅ぼされた。頼家は伊豆に幽閉されたのち殺害され、將軍職は北条時政が後見してきた源実朝が継ぐこととなり、北条時政の幕府内における地位が高まった。_(a)
- B 後鳥羽上皇は 2 を設置して軍事力を強化するなど、朝廷の威勢を回復しようとしていた。そうしたなか、源実朝が暗殺され、その後、後鳥羽上皇と幕府との緊張が高まり、1221年、上皇は 3 追討の命令を発した。しかし、幕府軍が迅速に対応し、京都を制圧した。この争乱_(d) の後、幕府の支配権は飛躍的に拡大した。
- C 元寇の後、幕府の支配権が全国的に強化される中で、北条氏の権力は拡大し、なかでも北条氏家督である得宗のもとに権力が集まっていった。そのようななか、御家人が支持する安達泰盛と、得宗家の家臣の筆頭である 4 の平頼綱との対立が顕在化し、1285年両者はついに衝突した。_(f) その結果、安達泰盛は敗死し、その後、執權北条貞時_(g)を中心とする得宗専制政治が確立した。
- D 南北朝内乱の中で権限を強化された守護の中には、複数の国の守護職を兼ね、国を越えて勢力を広げるものも現れた。山陰地方を中心に11カ国の守護職を占めたある一族は「六分一衆」と称された有力守護家であったが、足利義満は、強大化する守護の勢力を弱める政策を進め、この一族の内紛に介入して1391年に 5 を滅ぼした。
- E 鎌倉公方は、東国10カ国を統轄する鎌倉府の頂点にあり、管国内の訴訟の裁断、所領の充行などに独自の権限を有したため、京の將軍としばしば対立した。6 が將軍に就任すると、幕府に反抗的な鎌倉公方の足利持氏が挙兵したが、関東管領の上杉憲実_(k)が幕府側につき持氏は自害した。_(l)

問1 下線部(a)について、この争乱の後、北条時政は、幕府の一般政務や財政事務をつかさどる役所の長官に就任したが、その役所は何か。

問2 下線部(b)について、源頼家の子で、実朝を暗殺した人物は誰か。

問3 下線部(c)に関連して、天台座主であった慈円は、後鳥羽上皇の討幕の動きをいさめるねらいもあってある歴史書を著わしたが、その歴史書は何か。

問4 下線部(d)に関連して、この争乱の結果・影響について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 争乱の中心であった後鳥羽上皇は隠岐に配流され、仲恭天皇は廃位となった。
- イ 争乱後、幕府は京都に六波羅探題を設け、朝廷の監視や西国御家人の統轄にあたらせた。
- ウ 争乱を契機に、旧来の本補地頭が廃止され、新たに新補地頭が各地に任命された。
- エ 争乱後、幕府は莊園・公領の面積などを記した大田文の作成を命じた。

問5 下線部(e)に際して戦功をあげ、『蒙古襲来絵巻』を描かせて自らの奮闘ぶりを示した肥後国の御家人は誰か。

問6 下線部(f)の事件は何か。

問7 下線部(g)が、1297年、御家人の所領の無償返還などを内容とした法令を発したが、それは何か。和年号を付して記せ。

問8 下線部(h)について、室町幕府が発した法令によって、守護は国内の莊園・公領の土地の均分を認められ、これを国人に分給した。この法令は何か。漢字3字で答えよ。

問9 下線部(i)について、足利義満が行った政治について述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えよ。

- ア 京都の室町に花の御所といわれる新邸を構え、政治の中心とした。
- イ 南朝の後小松天皇から北朝の後龜山天皇に譲位する形で南北朝合一を実現した。
- ウ 刑事・民事の裁判権や商工業者への課税権など、京都の市政権を幕府の管轄下においた。
- エ 将軍職を辞した後に太政大臣に就任し、公家・武家双方の頂点に立った。

問10 下線部(j)について、初代の鎌倉公方は誰か。

問11 下線部(k)について、この争乱を何というか。

問12 下線部(l)に関連して、上杉憲実が15世紀前半に関東に再興した教育機関は何か。

問13 空欄 1 ~ 6 に入る最も適切な語句を、次のア～ツのうちからそれぞれ一つ選んで記号で答えよ。

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| ア 今川貞世 | イ 北面の武士 | ウ 執事 | エ 山名氏清 | オ 足利義政 |
| カ 足利義勝 | キ 西面の武士 | ク 大内義弘 | ケ 内管領 | コ 北条泰時 |
| サ 北条実時 | シ 足利義教 | ス 連署 | セ 比企能員 | ソ 土岐康行 |
| タ 滝口の武士 | チ 梶原景時 | ツ 北条義時 | | |

地 理 B

- 1 世界の地形と自然災害に関する次の文章を読み、下の図1を見て、後の問い合わせ（問1～7）に答えよ。
(配点 25点)

地球上の陸地は、先カンブリア時代に形成された岩盤からなる安定陸塊、古生代に造山運動を受けた古期造山帯、中生代末期以降に造山運動を受けた新期造山帯に3区分することができ、これを世界の大地形区分（地体構造）⁽¹⁾という。また、海底を含む地形の成因と、地震や火山の分布、その発生メカニズムなどをプレートの動きによって説明する理論は、プレートテクトニクスとよばれている。

新期造山帯に属する日本は、複数の海洋プレートと大陸プレートの境界に位置している。このため、プレートの沈み込みに伴うプレート境界型の地震、沈み込むプレート内部が壊れることで発生する地震、陸のプレート内部で発生する地震など、さまざまな地震の多発地帯となっており、また、100を超える活動的な火山⁽⁵⁾がみられる。自然災害には、こうした地震や火山活動など内的営力によるもの⁽⁶⁾のほかに、気象などの外的営力によってもたらされるものもある。
(7)

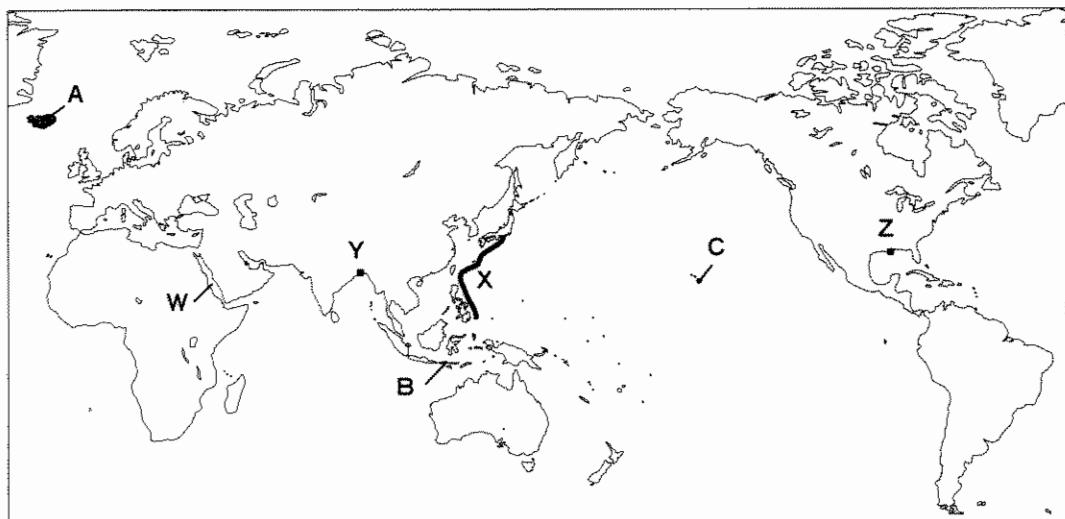


図1

問1 下線部(1)に関して、次の〔I〕～〔IV〕の各グループ内の5地域のうち、4つは地域の全域または大半が同じ大地形に属している。各グループの5地域の大地形区分について正しく述べたものを下の①～⑥から選び、番号で答えたうえで、異なる1つをa～eのうちから選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|-------|-----------|-------------|--------------|
| 〔I〕 | a デカン高原 | b 中央シベリア高原 | c アラビア半島 |
| | d セイロン島 | e タスマニア島 | |
| 〔II〕 | a アトラス山脈 | b アンデス山脈 | c ドラケンスバーグ山脈 |
| | d イラン高原 | e ニューギニア島 | |
| 〔III〕 | a ア巴拉チア山脈 | b ウラル山脈 | c テンシャン山脈 |
| | d エチオピア高原 | e グレートブリテン島 | |
| 〔IV〕 | a ア拉斯カ山脈 | b チベット高原 | c スマトラ島 |
| | d マダガスカル島 | e 台湾島 | |

- ① 4つが安定陸塊に、1つが新期造山帯に属している。
- ② 4つが安定陸塊に、1つが古期造山帯に属している。
- ③ 4つが新期造山帯に、1つが古期造山帯に属している。
- ④ 4つが新期造山帯に、1つが安定陸塊に属している。
- ⑤ 4つが古期造山帯に、1つが安定陸塊に属している。
- ⑥ 4つが古期造山帯に、1つが新期造山帯に属している。

問2 下線部(2)に関して、図1中のWは紅海である。プレートテクトニクスからみたWの海域の成因を、30字以内で述べよ。

問3 下線部(3)に関して、図1中の島A～Cに分布する火山について述べた次の文章中の（1）・（2）には海底地形名が、（3）にはカタカナの用語が入る。それぞれに該当する適語を答えよ。

A島は、プレートの広がる境界に形成された（1）に位置する島である。2010年には、島の南部に位置するエイヤフィヤトラヨークトル氷河にある火山が噴火し、その噴出物がヨーロッパ各地に広がったため、約1週間にわたって航空機の飛行が制限された。B島のタンボラ山は、プレートの狭まる境界にあたる（2）に並行して連なる火山の1つで、1815年の噴火の際の噴出物は成層圏まで広がり、翌年のヨーロッパ北部、アメリカ北東部などで冷害をもたらした。C島のマウナロア山やキラウエア山は、プレート内部にあって局地的にマグマが上昇する（3）に位置する火山で、同島最大の都市ヒロに迫る溶岩流が19世紀半ば以後、数回発生している。

問4 下線部(4)に関して、図1中のXは、隣り合う2つのプレートの境界を示したものである。Xに接した海洋プレートの名称を答えよ。

問5 下線部(5)に関して、次の文章中の(①)と(②)に該当する適語を答えよ。

1995年の阪神淡路大震災は、陸のプレート内部で(①)が大規模に動く直下型の地震によるものであった。(①)とは、最近の地質時代に繰り返し活動し、今後も活動が継続すると考えられるものをいう。この地震では、高架の高速道路など建造物の倒壊や電気や水道などのライフラインが分断され、復旧に多くの時間を要した。また、埋立地などでは地中の水分が地表に噴出する(②)現象も多くみられた。

問6 下線部(6)に関して、次の図2中の①～⑤のうちから、火山が分布しない地域を1つ選び、番号で答えよ。



図2

問7 下線部(7)に関して、図1中のYとZにはデルタが形成されており、低気圧の接近に伴う自然現象によって大規模な浸水被害が発生している。両地域に水害をもたらす自然現象のうち、洪水以外のものを答えよ。

2 民族と言語・宗教に関する次の文章を読み、後の問い合わせ（問1～6）に答えよ。

(配点 25点)

民族とは、文化的特色によって区分された人類の集団をさす。文化のなかでも言語と宗教は、人々の連帯感を強める働きが大きいため、民族分類の重要な基準となっている。

言語は長い年月をかけて、人々の移動や宗教の伝播によって少しづつ形を変えながら広がっていった。言語学的に共通の祖語から派生した言語のグループ、または、互いに関係が深いとされる言語のグループを語族または諸語とよび、さらに一層の親近関係をもつグループを語派とよぶ。

一方、宗教の拡大にはさまざまな形態がある。キリスト教のように宣教師や植民地支配を通じて拡大した例や、イスラム教のように侵略や交易により拡大した例もある。このように一つの民族・人種をこえて広域に拡大した宗教を世界宗教という。宗教の多くは、莊嚴な宗教施設を有するほか、教義
^(a) ^(b) ^(c) ^(d) · 戒律が生活行動の規範として重んじられるため、衣食住生活にも影響を与える。

こうした言語や宗教の分布は複雑に入り組んでおり、国内に複数の民族が居住しない国はない。言語が異なると意思疎通に支障をきたし、国家の公文書や裁判などで使用される公用語の採択
^(e)において、言語の異なる民族間で対立を生むことがある。宗教の違いは、文化摩擦や紛争の原因となりかねない。こうした対立を避けるためにも、少数派の民族
^(f) の主張や権利を尊重することが多くの国の課題となっている。

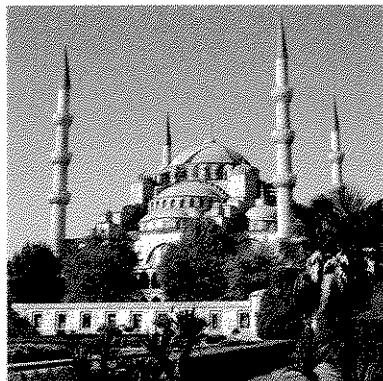
問1 下線部(a)に関して、(1)インド・ヨーロッパ語族、(2)ウラル語族に該当する言語を、次の①～⑥のうちからそれぞれ1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① アラビア語 ② スワヒリ語 ③ タイ語
- ④ トルコ語 ⑤ ペルシャ語 ⑥ マジャール（ハンガリー）語

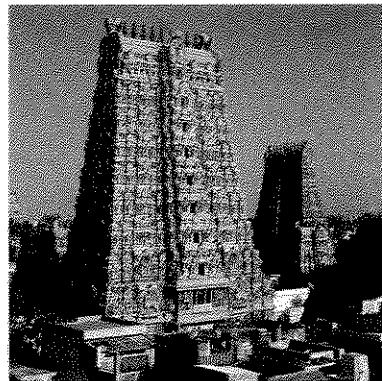
問2 下線部(b)に関して、次の文章は、主な世界宗教の分布について述べたものである。文章中の下線部①～⑥のうちから、誤っているものを2つ選び、その番号を答えるとともに、それを正しい語句に訂正せよ。

イスラム教は、北アフリカから東南アジアにかけての地域を中心に広範な信仰圏をもち、その信者数が最も多い国はエジプトである。^① イスラム教は教義、信仰の姿勢によっていくつかの宗派に分かれるが、シーア派とよばれる少数派は、その信者の分布がイランからペルシャ湾岸の地域にはほぼ限定される。キリスト教にも多くの宗派がある。そのうち、カトリックは、その信者数が最も多い国であるブラジルをはじめ、世界各地で信仰されているのに対し、東方正教
^③ ^④ の信仰圏は、ギリシャからウクライナやロシアにかけてのヨーロッパ東部を中心としている。仏教は南アジアの一部から東アジアにかけて信仰されており、タイやミャンマーなど東南アジアの仏教圏では、主に大乗佛教が信仰されている。^⑤ ^⑥

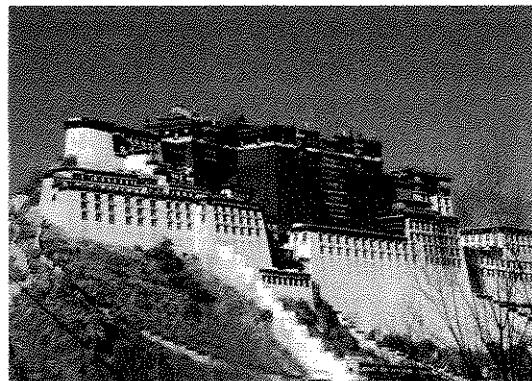
問3 下線部(c)に関して、次の写真X～Zは、下の図1中のア～カのいずれかの都市にある建造物を撮影したものであり、各都市では、それぞれの建造物に関連する宗教が広く信仰されている。このうちX・Yの写真が撮影された地点を、図1中のア～カのうちからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。



X



Y



Z

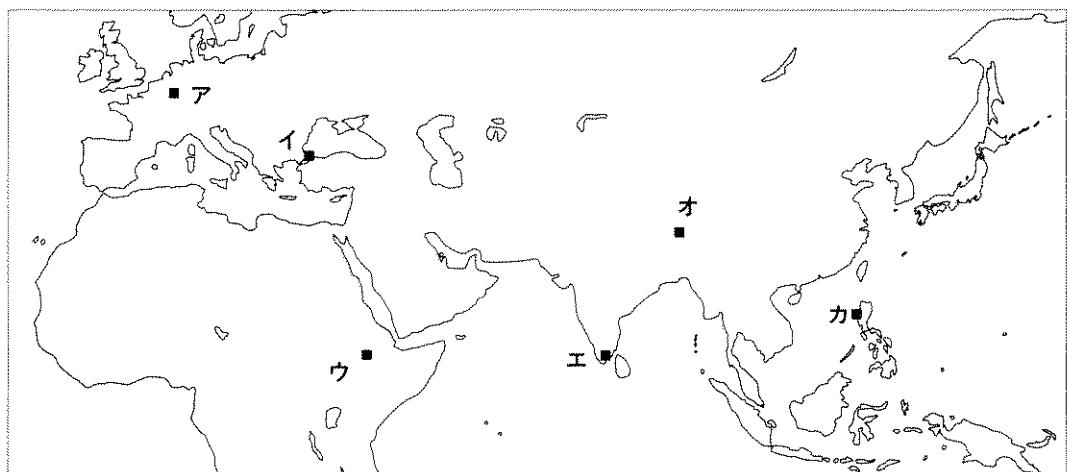


図1

問4 下線部(d)に関して、次の(1)・(2)の文章は、問3の写真に関連する3つの宗教のうち2つについて述べたものである。文章中の空欄(A)に該当する都市名と、(B)に該当する国名を答えよ。

(1) アルコールの摂取や女性の肌の露出は禁忌とされるなど厳しい戒律がある。なかでも一日5回の礼拝、断食、カーバ神殿のある聖地(A)への巡礼など、五行とよばれる5つの行いは特に重視されている。

(2) 仏教の一派であるが、経文の入ったマニ車を回しながら真言(マントラ)を唱えたり、塔や橋、家の屋上などに経文を印刷した魔除けと祈りの旗を掲げたりするなど、固有の特色を持つ。聖地はラサで、ブータンや(B)でも国民の大半が信仰している。

問5 下線部(e)に関する以下の問いに答えよ。

(1) 次の表1は、複数の公用語を指定している国と、その公用語を示したものである。(C)に該当する国名と、(D)・(E)・(H)に該当する言語名を答えよ。ただし、Cはヨーロッパの国である。

表1

国	公用語
スイス	(D)・(E)・(F)・ロマンシュ語
(C)	オランダ語・(E)・(D)
カナダ	(G)・(E)
シンガポール	(G)・(H)・マレー語・タミル語

(2) 民族対立を避けるため、あえて植民地時代の旧宗主国の言語を公用語とする例もある。こうした国の一例として最も適切なものを、次の①～④から1つ選び、番号で答えよ。また、その国で公用語として採用されている旧宗主国の言語名を答えよ。

- ① アルジェリア ② インドネシア ③ ナイジェリア ④ マレーシア

問6 下線部(f)に関して、次の(1)～(3)の文章は、世界各地の少数民族について述べたものである。文章中の空欄(P)～(R)に該当する適語を答えよ。

(1) スペインとフランスの国境付近に居住している(P)人は、スペイン語やフランス語とは異なる系統の(P)語を母語としている。現在、スペインでは自治が認められているものの、スペイン、フランス両国の(P)人の統一をめざした独立運動もみられる。

(2) トルコ東部やイラク北部を中心に西アジアの数か国にまたがって居住している(Q)人は、分離独立を求め、居住地域の中央政府と激しく対立してきた。近年は、各国で広範な自治権の獲得をめざそうとする運動もみられる。

(3) カナダ北部からアラスカを中心にシベリア東部やグリーンランドにも居住している(R)人は、狩猟や漁労を行い生活してきたが、近年定住化政策が進み、伝統的な生活の変容が著しい。

地理Bの問題は次のページに続く。

3 農林水産業に関する、次の問い合わせ（問1～4）に答えよ。

(配点 25点)

問1 次の文章は、次ページの図1中のA～Dの地域でみられる農牧業の特徴について述べたものである。文章中の空欄〔 a 〕～〔 g 〕に該当する適語を、下の①～⑯のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。また、空欄 **ア** ～ **エ** に該当する適語を答えよ。

- A 冷涼で乾燥した気候のもとで、大型の農業機械を用い主に〔 a 〕を生産する大規模農業で、〔 b 〕がきわめて高い。生産物の加工・流通は **ア** とよばれる少数の企業が独占している。
- B 産業革命以降に **イ** から分化した農業形態である。冷涼で水はけの悪いやせた土壌で穀物の生産に適さない地域であるが、工業化に伴い形成された都市の消費市場を背景に〔 c 〕の飼育に特化し、生産物とその加工品が市場に出荷される。
- C 植民地時代に、栽培に陽射しや風を避けるための守り木が必要な嗜好作物の〔 d 〕が導入された。現地資本や小農による経営が多いが、生産物の流通は多国籍企業の支配下にあり、不当な低価格での取引が問題化した。近年は適正価格で生産物を購入する **ウ** 運動も進められている。
- D 肥沃土に恵まれる沖積平野で、夏の **エ** によってもたらされる高温多雨を利用し、主に〔 e 〕を栽培する。耕作や水の管理、除草など生産に多くの手間をかける〔 f 〕農業で、他の穀物栽培に比べ〔 g 〕は高い。

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| ① 冬小麦 | ② 春小麦 | ③ 稲 | ④ とうもろこし |
| ⑤ 綿花 | ⑥ 茶 | ⑦ カカオ | ⑧ さとうきび |
| ⑨ 豚 | ⑩ 羊 | ⑪ 肉牛 | ⑫ 乳牛 |
| ⑬ 土地生産性 | ⑭ 労働生産性 | ⑮ 資本集約的 | ⑯ 労働集約的 |

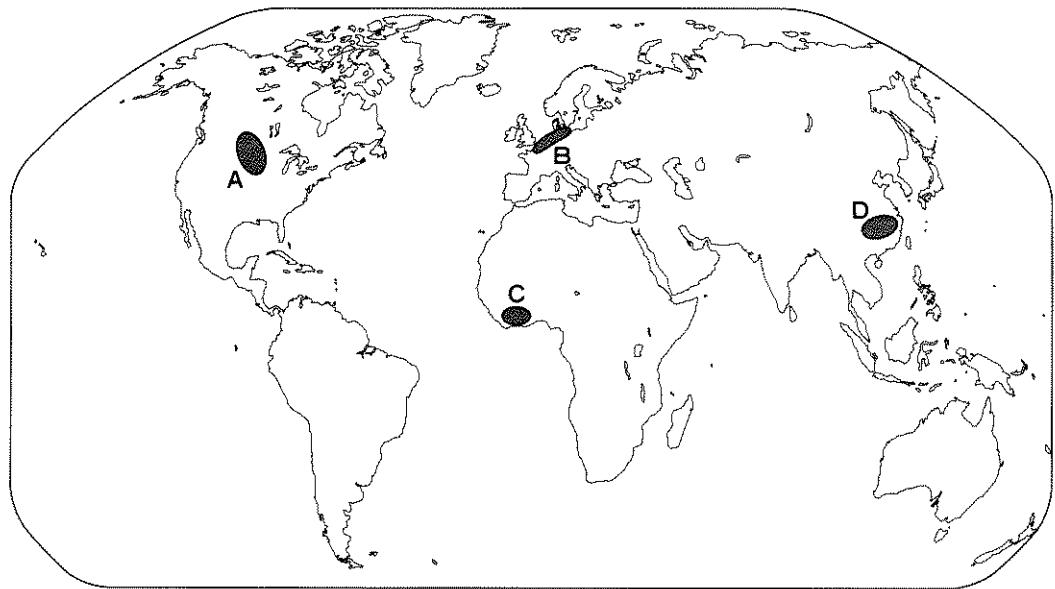


図1

問2 次の文章は、世界一の漁獲量をあげたことのあるペルー、日本、中国の漁業について述べたものである。文章中の下線部①～⑥のうちから、誤っているものを2つ選び、その番号を答えるとともに、それぞれを正しい語句に訂正せよ。

1950年代には日本が世界一の漁獲量をあげていたが、1960年代には急激に漁獲量を伸ばしたペ
ルーにその地位を奪われた。ペルーの漁獲の大半を占めるのはアンチョビで、主に飼料として輸
出されたが、乱獲に加え異常気象のエルニーニョ現象の影響で漁獲量が低下し、1970年代から
1980年代に世界一の漁獲量をあげたのは日本であった。しかし、1990年代に遠洋漁業の漁獲量の
大半を占めていたイワシ類が不振となり日本の漁獲量は大幅に減少した。これに代わって1990年
代に漁獲量が急増した中国は、海面漁業、内水面漁業、養殖業とも大幅に生産量を拡大し、いず
れも世界一となった。このうち中国で生産量が最も多いのは養殖業である。中国の海面漁業の拡
大は近隣諸国と領海をめぐる対立を顕在化させ、東シナ海ではフィリピンやベトナムなどのト
ラブルが多発している。

問3 次の表1は、木材の伐採高の上位5か国（2009年）であるアメリカ合衆国、インド、中国、ブラジル、ロシアについて示したものである。中国とブラジルに該当するものを表1中のカ～コのうちから1つずつ選び、記号で答えよ。

表1

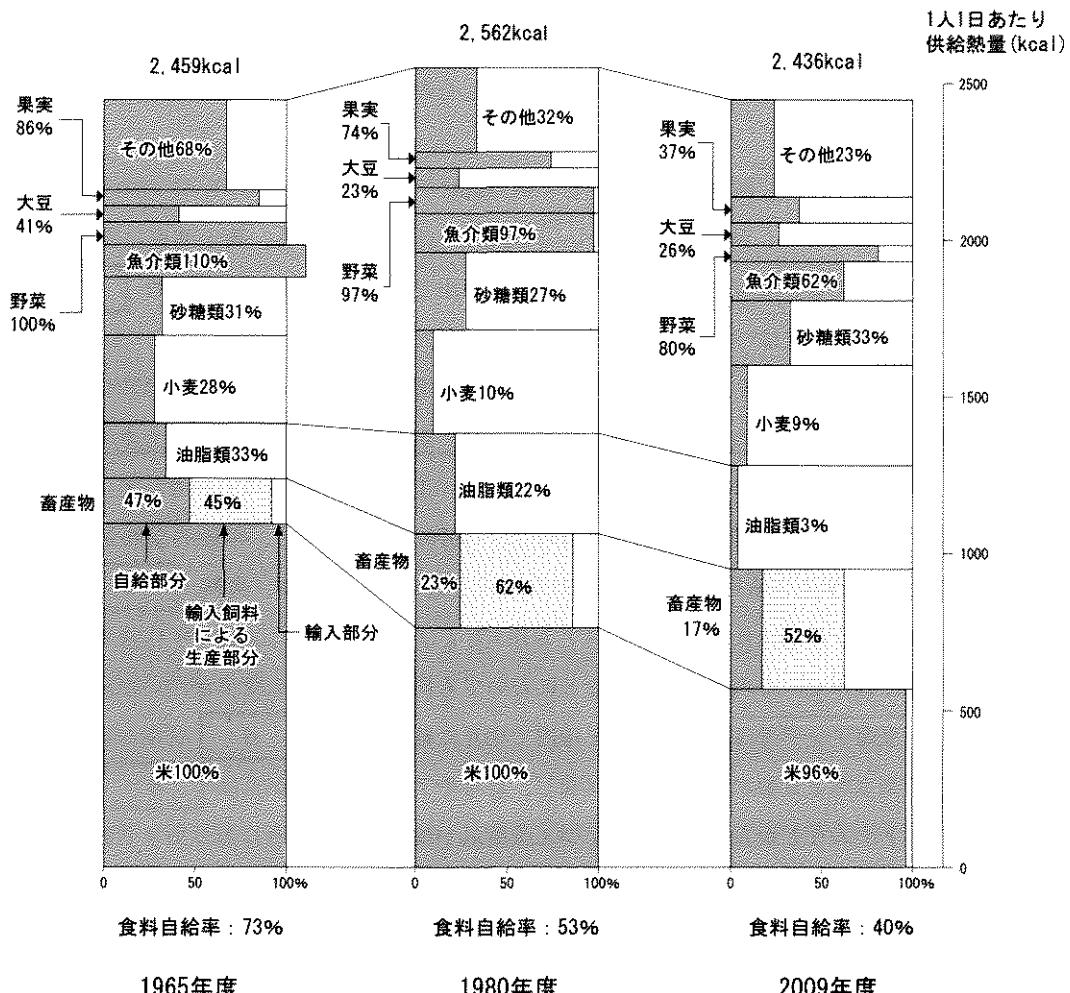
国名	森林面積		森林面積の 年変化 (千ha/年)	伐採高に占める割合	
	(百万ha)	対国土面 積比(%)		用材 (%)	針葉樹 (%)
カ	809	47.3	60	74.6	66.3
キ	524	61.5	-2,194	46.2	22.6
ク	303	30.8	383	88.3	58.1
ケ	201	21.0	2,763	32.6	48.2
コ	68	20.7	145	7.0	3.7

森林面積は2008年。森林面積の年変化は2005～2010年の平均。伐採高に占める割合は2009年。

『世界国勢図会』、Global Forest Resources Assessment 2010により作成。

問4 下の図2は、1人1日あたり供給熱量とその品目別内訳の推移と、食料自給率（食料全体と品目別；供給熱量ベース）の推移を示したものであり、次の文章は、日本の食料自給率の変化について述べたものである。文章中の空欄のうち、〔X〕・〔Y〕には、図2中に示された品目名から適当なものを選んで答え、〔Z〕には、図2に示された以外の作物名を答えよ。

供給熱量での食料自給率が大きく低下した背景には、食生活の変化に伴い自給率が高い〔X〕の消費量が減少し、〔Y〕や油脂類、畜産物などの消費や輸入の割合が上昇したことがあげられる。畜産物は〔Z〕を中心とする輸入飼料に依存する割合が高いものの国内での生産が多くかったが、近年は輸入が大幅に増加している。



農林水産省「食料需給表」により作成。

図2

4 アジアに関する次ページの図1と次の文章を読み、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。

(配点 25点)

中央アジアと北アジア（シベリア）を除くアジアは、図1のように、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアの4地域に区分できる。この区分は地理的位置によるもので、気温や降水量などの自然環境は、4地域間はもとより、同じ地域内でも大きく異なるが、各地域が歩んできた歴史や経済発展の過程には共通点もある。

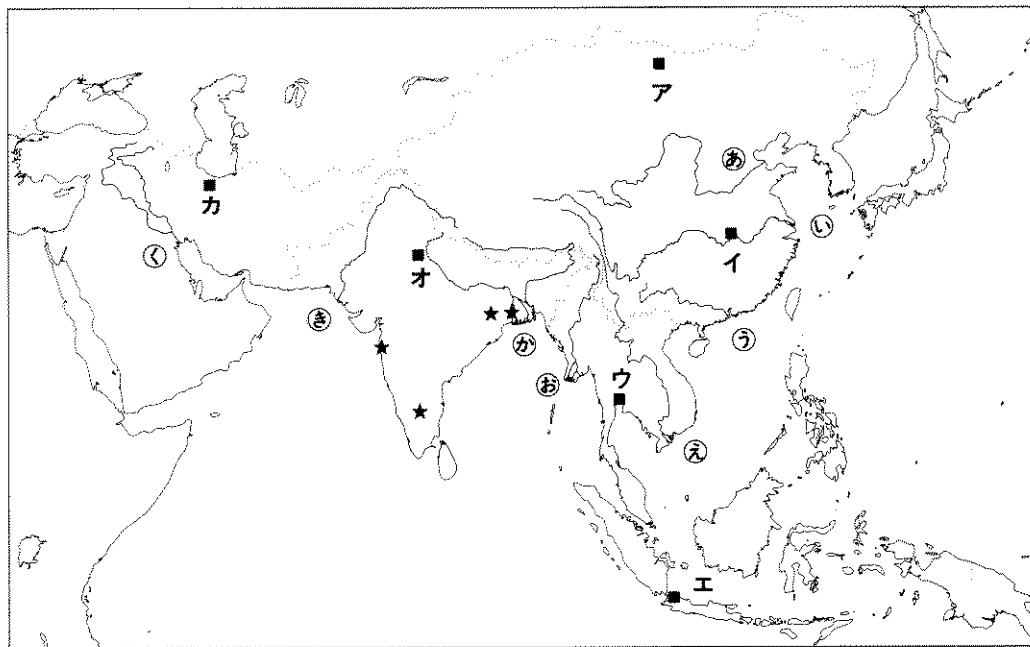
アジアを流れる大河の多くは、チベット高原やヒマラヤ山脈に源を持ち、多雨地域の中下流を流れ、河口部にデルタを形成している。河川Aの中下流平原にはトンチン湖など多くの湖があり、流域は古来より内陸水運が盛んであった。現在は、サンシャヤダムの建設によって、上流の **1** 盆地まで1万トン級の貨物船が遡航できるようになっている。河川Bは、流域が6か国にまたがる大河であるが、トンレスップ湖が位置する下流の平野と中流域の間に早瀬があるなどの理由で、水運はそれほど盛んではない。河川Cは、**2** 平原を東流したのち、下流でもう1つの大河をあわせ、ベンガル湾に注いでいる。

一方、河川D・E・Fは、河川A～Cと同じく河口部にデルタを形成するが、その中下流域の気候は乾燥している。このうち、河川Dは、チベット高原から流れ出たのち、黄土高原に深い谷を刻んで、渤海に注ぐ。河川Eと河川Fは、湿润地域から流れ出て砂漠を貫流する典型的な **3** 河川で、Eはアラビア海に、Fはペルシャ湾に注ぐ。

この地域には、植民地支配を受けた国や内戦を経験した国が多く、独立後あるいは政情安定後、貧困からの脱却をめざして農業の多角化、地下資源の開発、工業化を進め、貿易を拡大させてきた。

(2) 東・東南・南アジアの多くの国は、第二次世界大戦後、工業製品の国産化をめざして **a** 型工業化を進めたが、顕著な工業化には至らなかった。1970年代になると、積極的な外資導入により **b** 型工業化政策を探る国・地域が現われた。そうした国・地域は、当初、**c** 型工業製品の輸出により急速な経済成長を遂げ、アジア NIEs とよばれた。さらに、1980年代後半には東南アジアの一部の国において、その後は、中国などにおいても同様の工業化に弾みがついた。工業化に伴い、現在の東・東南アジアでは、工業製品を域内で相互に輸出入する **d** 貿易が活発化している。ただし、技術水準と賃金水準の格差を反映し、日本やアジア NIEs からは **e** 型工業製品が、後発国のベトナムなどからは **c** 型工業製品が輸出され、相互に取り引きされている。南アジアのインドの工業化は遅れたが、1990年代以後は、その成長ぶりが注目されている。日本は、これら地域を含むアジア・太平洋地域との経済交流を一層深めるべく、いくつかの国・地域との間で **f** 自由貿易協定を締結している。

一方、西アジアの産油国は、油田の国有化や資源カルテルの結成により石油収入を増大させることに努力してきた。近年は、豊富な石油収入を活かし、商業・金融業・観光業などの発展に力を入れ、石油依存の経済からの脱却を図っている。

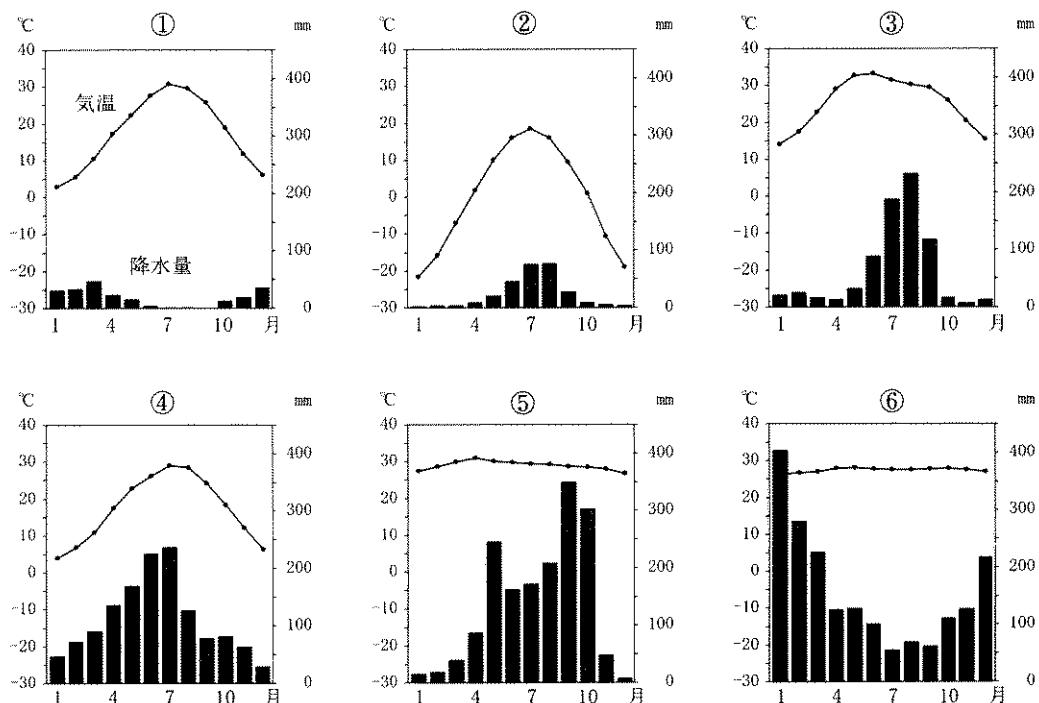


は、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアの区分界。

図 1

問 1 下線部(1)に関して、次の図 2 中の雨温図①～⑥は、図 1 中のア～カのいずれかのものである。

このうち、図 1 中のエ・カに該当する雨温図を、図 2 中の①～⑥のうちから 1 つずつ選び、番号で答えよ。



『理科年表』により作成。

図 2

問2 文章中の河川A～Fのうち、Bに該当するものを、図1中の⑥～⑩のうちから1つ選び、記号で答えたうえで、その河川名を答えよ。

問3 文章中の空欄 **1** ~ **3** に該当する地名・適語を答えよ。

問4 下線部(2)に関する次の問い合わせに答えよ。

i) 下の表1は、中国、インドネシア、タイ、パキスタンの主要輸出品目の変化を示したものであり、表中の品目サ～ソは次の①～⑤のいずれかである。このうち、品目サ・ソに該当するものを次の①～⑤のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① 衣類 ② 機械類 ③ 原油 ④ 米 ⑤ 自動車

表1

中国		インドネシア	
1989年	2009年	1989年	2009年
繊維品 サ シ ス 繊維原料	13.3 11.7 6.5 5.2 2.9	シ サ 繊維品 金属製品 精密機械	44.3 8.9 5.0 3.5 3.3
シ サ 天然ガス サ 天然ゴム	23.3 10.9 10.8 5.2 4.6	石炭 シ バーム油 ス 液化天然ガス	11.9 11.1 8.9 6.7 6.4
タイ		パキスタン	
1990年	2009年	1989年	2009年
シ サ 魚介類 セ 野菜	21.0 12.2 9.8 4.7 4.6	シ ソ 石油製品 魚介類 プラスチック	31.8 7.8 4.4 4.1 3.4
繊維品 サ 綿花 セ 革類	42.5 15.2 14.5 6.5 5.4	繊維品 サ セ 石油製品 セメント	37.1 19.1 10.1 4.1 3.0

数字は各国の総輸出額に対する割合(%)。『世界国勢図会』により作成。

ii) 次の表2は、韓国、中国、日本、ホンコンの貿易相手国・地域を示したものであり、表中のG～Jは、これら4つのいずれかである。このうち、G・Hに該当する国・地域を答えよ。

表2

貿易相手上位3か国		
G	輸出	Aメリカ合衆国 (18.4) J (13.8) H (8.2)
	輸入	H (13.0) I (10.2) 台湾 (8.5)
H	輸出	G (18.9) Aメリカ合衆国 (16.4) I (8.1)
	輸入	G (22.2) Aメリカ合衆国 (11.0) オーストラリア (6.3)
I	輸出	G (23.2) Aメリカ合衆国 (10.1) H (5.8)
	輸入	G (16.8) H (15.3) Aメリカ合衆国 (9.0)
J	輸出	G (51.1) Aメリカ合衆国 (11.6) H (4.4)
	輸入	G (46.4) H (8.8) 台湾 (6.5)

年次は2009年。数字は各国の総輸出・輸入額に対する割合(%)。『世界国勢図会』により作成。

問5 文章中の空欄 [a] ~ [e] のうち、[a]・[d]・[e] に該当する適語を、次の①~⑩のうちから1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① 原料指向 ② 資本集約 ③ 垂直 ④ 水平
⑤ 知識集約 ⑥ 中継 ⑦ 保護 ⑧ 輸出指向
⑨ 輸入代替 ⑩ 労働集約

問6 下線部(3)に関して、次の表3は、東南アジア諸国の面積、人口、経済状況などを示したもので、表中のf~oはASEANに加盟している10か国である。このうち、g・jに該当する国を答えよ。

表3

国	面積 (千km ²)	人口 (千人)	GNI／人 (ドル)	輸出額 (百万ドル)
f	1,910.9	239,871	2,080	158,200
g	676.6	47,963	380	6,731*
h	513.1	69,122	3,719	195,375
i	331.2	87,848	1,032	57,096*
j	330.8	28,401	6,732	198,800
k	300.0	93,261	2,004	51,432
l	236.8	6,201	853	1,070*
m	181.0	14,138	615	4,550*
n	5.8	399	26,385	7,169*
o	0.7	5,086	37,542	351,867

年次は、面積が2008年、人口と輸出額が2010年(*は2009年)、GNI／人(1人あたり国民総所得)が2009年。『世界国勢図会』、『世界の統計』により作成。

問7 下線部(4)に関して、次の文章は、インドの経済発展について述べたもので、文章中の空欄(p)~(s)は、図1中に★印で示した都市のいずれかである。このうち、(p)・(r)に該当する都市名を答えよ。また、空欄[z]に該当する説明を10字以内で答えよ。

インドの近代工業は、19世紀後半に発展した(p)の綿工業と(q)のジュート工業に始まる。20世紀初頭、(r)に鉄山と炭田を背景とする製鉄所が建設されたものの、植民地時代は軽工業が中心であった。独立後は国家主導で重工業化を進めたが、その国際競争力は低く、輸出品は軽工業品が中心であった。1991年に経済自由化政策に転じて以後、航空機産業が立地していた(s)などでIT産業が発展し、インドはソフトウェア開発の世界的な拠点の1つとなった。ソフトウェア産業が急成長した要因としては、英語を流暢に話し理数教育を受けた若者の存在や、国際的にみて賃金水準が低いことのほか、インドとの(z)ことを活かした終日体制での開発をめざすアメリカ合衆国企業からの外部委託が増えたことがあげられる。

る。経済成長に伴って多国籍企業の進出も進み、その多くは、国内企業の本社が多く集まるインド最大の商業都市（　P　）に拠点を置いている。（　P　）は、映画産業の盛んな都市としても有名である。

問8 下線部(5)に関して、2012年4月現在、日本が経済連携協定（EPA）とよぶ自由貿易協定（FTA）を締結している国の組合せとして適当でないものを、次の①～④のうちから1つ選び、番号で答えよ。

- ① オーストラリア・中国
- ② インドネシア・フィリピン
- ③ シンガポール・メキシコ
- ④ タイ・マレーシア

問9 下線部(6)に関して、下の3つの条件を満たす都市を、次の①～⑤のうちから1つ選び、番号で答えよ。

- ① クウェート
- ② ドーハ
- ③ ドバイ
- ④ バスラ
- ⑤ モカ

〔条件1〕ペルシャ湾に面し、中継貿易が盛んな都市である。

〔条件2〕連邦構成国の首都であるが、連邦の首都ではない。

〔条件3〕中東の金融センターとしての地位を確立しつつある。

政治・経済の問題は次ページから始まる。

政治・経済

1 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

日本に生きる私たちが、食料不足による餓死や内戦に伴う虐殺の被害を恐れることは、ほとんどないだろう。そして、「進学してこんなことをしたい」とか「自分のこの夢をかなえたい」という今後の「人生の選択肢」を、それなりに持っているだろう。しかし、広く世界の国々に目を向ければ、私たちのような恵まれた状況にある者は、それほど多くはない。経済的に貧しい開発途上国には、飢餓や貧困によってこの瞬間にも命を落としている人々が多数おり、そうした国に生きる若者は、私たちのように多くの「人生の選択肢」を持ってはいない。

先進国と開発途上国との経済格差やそれに起因する諸問題は、南北問題と呼ばれる。開発途上国のは、かつて植民地とされていた地域であり、その時に形成された特定の一次産品の生産や輸出に依存する経済構造、すなわち 1 経済から脱却できなかったために、貧困から抜け出せなかつた。もちろん、この問題に対しては、国際社会もさまざまな取組みを行ってきた。例えば国際連合は、1964年に総会の直属機関として 2 を設置し、貿易振興による経済開発を図ってきている。先進国政府も、開発途上国に対する公的な経済援助を供与している。民間レベルでも、多くの非政府組織（N G O）が支援活動を行ったり、開発途上国の產品を適正な価格で継続的に取引して現地の人々を支えようとする 3 が行われたりしてきた。

かつての開発途上国がめざましい経済発展を遂げ、現在では先進国レベルに近づいている国も見られる。その一方で、1日1ドル以下で生活することを余儀なくされ、極度の貧困にあえぐ人々は世界の人口の2割近くになるとされている。私たちがあたり前のように消費しているエネルギーを、ほとんど使うことのできない国も多い。開発途上国との間での経済格差の問題は 4 問題と呼ばれるが、後発開発途上国と呼ばれる貧しい国々に対しては、経済援助はもちろんのこと、識字率を向上させたり安定的な社会を構築するための援助も重要である。開発途上国に生きる人々の暮らし向きを改善するためには、こうした取組みを通じて、私たちと同じように多くの「人生の選択肢」を保障することが求められる。

問1 文章中の空欄 1 ~ 4 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。ただし、1 と 3 はカタカナで答えよ。

問2 下線部②に関連して、食料・食品についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 日本では、食べられるにもかかわらず捨てられる「食品ロス」がかなり発生しているとされ、政府もその削減に向けた取組みを行っている。
- ② 世界全体の穀物生産量は、現在の世界の総人口に対して絶対的に不足しており、これが開発途上国における飢餓の要因となっている。
- ③ 食料の世界的な安定供給を確保するため、世界貿易機関（WTO）は輸入農産物に関税をかけることを禁止している。
- ④ 先進国の食料自給率は一般的に低く、日本をはじめフランスやアメリカの供給熱量自給率は4割程度にとどまっている。

問3 下線部⑤に関連して、自ら価値があると考える生き方を選択できる幅（ケイパビリティ）を等しく保障することが福祉の重要な課題であると主張した人物で、アジア人として初めてノーベル経済学賞を授与されたインド出身の経済学者は誰か。

問4 下線部⑥に関連して、次の表は日本の地域別貿易金額とその割合を、1960年と2010年について示したものである。両年を比較した場合にこの表から読み取れる記述として適当でないものを、以下の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

	輸 出				輸 入			
	金額（10億円）		割合（%）		金額（10億円）		割合（%）	
	1960年	2010年	1960年	2010年	1960年	2010年	1960年	2010年
アジア	525	40268	35.9	59.7	492	37933	30.5	62.4
北アメリカ	440	11191	30.1	16.6	633	6876	39.2	11.3
中南アメリカ	109	3874	7.5	5.7	112	2485	6.9	4.1
ヨーロッパ	194	9215	13.3	13.7	176	8113	10.8	13.4
アフリカ	127	1057	8.7	1.6	59	1031	3.6	1.7
オセアニア	66	1796	4.5	2.7	146	4327	9.0	7.1

（矢野恒太記念会編『日本国勢図会』2011/12年版により作成）

- ① アジアや北アメリカとの間では両年とも輸入額より輸出額のほうが多いが、オセアニアとの間では両年とも輸入額のほうが輸出額よりも多い。
- ② 輸入割合が最も高い地域は北アメリカからアジアへと変化しているが、輸出割合が最も高い地域はアジアのままである。
- ③ 北アメリカとの間では輸出割合も輸入割合も大きく減少している一方、アジアとの間では輸出割合も輸入割合も大きく増加している。
- ④ アフリカへの輸出額の伸び率は中南アメリカへのそれを大きく下回っているが、輸入額の伸び率の差は輸出額の伸び率の差ほど大きくない。

問5 下線部④に関連して、かつて「先進国クラブ」とも呼ばれた **A** の委員会の一つである開発援助委員会（D A C）は、政府開発援助（O D A）の実施をはじめとする開発途上国への経済援助政策の調整などを行っている。空欄 **A** に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問6 下線部⑤に関連して、資格を満たした非政府組織は、国連憲章第71条に基づいて国連の主要六機関の一つである **B** 理事会と協議することができる。空欄 **B** に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問7 下線部⑦に関連して、開発途上国の経済発展についての記述として適当なものを、次の①～⑤のうちから二つ選び、番号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

- ① 韓国は、石油などの豊富な天然資源の輸出によって得た外貨をもとに国内産業の育成を図り、経済成長を遂げた。
- ② 中国は、高い経済成長率を記録し続けてきたことから、近年、国内総生産（G D P）で日本を上回るに至った。
- ③ 天然資源に乏しいブルネイは、安価な労働力を活用して労働集約的な工業製品を輸出するという戦略によって経済発展をめざしている。
- ④ 開発途上国の中には、フィリピンのように、先進国との間で経済連携協定を結んで経済発展をめざすところがある。
- ⑤ ブータン、ルワンダ、イラン、チリの4か国は、著しい経済成長を続けており、一般に「B R I C s」と総称されている。

問8 下線部⑧に関連する次の文章中の空欄 **C** ・ **D** に入れるのに最も適当な数字と語句の組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

世界の人口は現在、およそ **C** 億人にのぼると推定されており、この数は21世紀に入つてから **D** 。

- ① C - 70 D - は横ばい状態となっている
- ② C - 70 D - も増加が続いている
- ③ C - 70 D - は減少傾向を示している
- ④ C - 95 D - は横ばい状態となっている
- ⑤ C - 95 D - も増加が続いている
- ⑥ C - 95 D - は減少傾向を示している

問9 下線部⑪に関連して、原子力の平和利用の促進と軍事転用の防止を目的に設立され、核拡散防止条約に基づいて非核兵器国に対する核查察を実施していることで知られる国際機関を答えよ。

政治・経済の問題は次のページに続く。

2 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

人権保障の歴史は、民衆と国家権力との闘争の歴史であり、民衆は一步ずつ、人権保障に向けた歩みを進めてきたといえる。例えば、イギリスでは、他国に先駆けてたたかわれた市民革命において、^(①) 国王の恣意的な権力行使を制限し自由を確保する歴史的文書を勝ち取った。また、アメリカでは、^(②) イギリスからの独立革命を成功させ、世界史上初めて自然権の保障を成文化した **1** 権利章典を制定した。さらに、フランス革命では、^(③) 旧体制を打倒して、「人および市民の権利宣言」を高らかにうたいあげたのである。

ただし、これらの文書は、いざれも^(④) 国家権力を制限することによって市民の自由を確保しようとするものであり、^(⑤) 自由権の保障を中心としていた。そのため、低賃金・長時間労働、児童労働、貧富の格差の拡大などの問題は、市民社会の内部において解決すべき私的自治の領域に属する問題とされ、^(⑥) 権利保障の^(⑦) 埋かれに置かれていたのである。

こうした自由権、とりわけ経済的自由の保障の下で、19世紀以降、資本主義経済は急速に発展した。しかしその反面、さまざまな社会問題が深刻化し、従来の権利保障では人間らしい生活を確保するには不十分であることが認識されるようになった。そこで、^(⑧) 労働運動などにおいて、選挙権の拡大が求められるとともに、私的領域に国家権力があえて介入することにより、人間らしく生きる権利を保障すべきであるという要求が掲げられるようになった。1919年にドイツで制定された **2** 憲法が、資本主義の憲法として初めて社会権を保障したことは、こうした運動の重要な成果といえるだろう。

しかし、当時最も民主的とされた **3** 憲法を持つドイツで、ヒトラーを指導者とする政党である **3** が政権を握ったのをはじめ、複数の国で、民族や国家の価値が個人に優越することを強調する全体主義的な政治体制が現れ、人権を著しく蹂躪した。そのため、第二次世界大戦後、こうした経験を教訓として、西洋以外の各国においても人権保障を求める市民の運動が展開され、また、国際連合などを中心に^(⑨) 人権の国際的保障に向けた取組みが進められた。こうして人権保障は、今日では各国の国内問題にとどまらず、国家や民族の枠を超えた国際社会に共通の課題となったのである。

問1 文章中の空欄 **1** ~ **3** に入れるのに最も適当な語句を、すべてカタカナで答えよ。

問 2 下線部④に関連して、市民革命期の思想家に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ルソーは、人々が死の恐怖にさらされる自然状態を脱するためには、各人の有する自然権を主権者に対して全面的に譲渡する必要があるとした。
- ② ホップズは、政府が自然権を侵害するときには、人民は政府を変更することができると説いた。
- ③ ロックは、選挙で選ばれた代表者により構成される議会を中心とした政治を理想とした。
- ④ グロティウスは、個人の権利は、すべての人に対して国家から与えられるものであるとする自然権思想を説いた。

問 3 下線部⑤に関連して、国王の権力は神から付与されたものであるとして、国王による絶対的な支配を正当化する政治理論を一般に何というか。

問 4 下線部⑥に関連して、1689年にイギリスで発布された、国王が議会の同意なしに法律を停止したり課税したりすることを禁止する文書を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 人身保護律
- ② 大憲章
- ③ 権利請願
- ④ 権利章典

問 5 下線部⑦に関連して、国家権力の行使を客観的なルールに基づかせようとする考え方には、「法の支配」と「法治主義」があるが、これら二つの考え方の相違点を、60字以内で説明せよ。

問 6 下線部⑧に関連して、自由権を保障する一方で、国防や治安維持など必要最小限の役割のみを担う18～19世紀の自由放任主義的な国家のあり方を、ドイツの社会主義者ラッサーは「皮肉ったか。漢字4字で答えよ。

問 7 下線部⑨に関連して、19世紀のイギリスでは、労働者が「人民憲章」を掲げて組織的な参政権獲得運動を開いた。この運動は、「人民憲章」にちなんで何と呼ばれるか。

問 8 下線部⑩に関連して、国際的な人権条約に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 女性差別撤廃条約は、いかなる理由があろうとも、法律上、男性と女性の取扱いを区別することは認められないとしている。
- ② ハーグ条約は、国際結婚が破綻し、子どもの引取りをめぐる紛争が生じた場合、子どもをもとの居所（常居所）にいったん戻して法的決着をつけることを目的としている。
- ③ 子どもの権利条約は、子どもを、もっぱら権利行使の主体として捉えるべきであると規定し、保護の対象として捉えることは認められないとしている。
- ④ 難民条約は、人種・信条・政治的意見などによる迫害や、経済的な理由で国外に脱出した者を国際的な保護の対象としている。

③ 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～11）に答えよ。（配点 20点）

かつて絶対王政の下では国王に権力が集中していたが、市民革命を経て近代的な民主主義が進展するなかで、権力を分立・分散させ、権力の絶対化を防止する仕組みが築かれていった。権力分立の考え方にはさまざまなものがあるが、18世紀フランスの啓蒙思想家 1 が提起した、国家権力を行政権・立法権・司法権に分けて、それぞれ異なる機関に分担させ、相互に抑制と均衡を図る三権分立論がよく知られている。こうした権力分立には三つのタイプがある。

まず、三権分立を厳格に適用したのがアメリカの大統領制であり、行政権を大統領、立法権を連邦議会、司法権を連邦裁判所が担い、それぞれが独立性を保ちつつ相互に抑制し合っている。アメリカの大統領制では、大統領と議会議員が別々の選挙によって選出され、大統領も議員も原則として一定期間の任期を全うできる。つまり、大統領は議会の解散権を持たず、議会への法案提出権も持たない。また、議会は大統領に対する不信任決議権を持たず、大統領は独立して行政権を行使できる。

他方、イギリスの議院内閣制では、立法権と行政権の協働関係が見られ、行政権を有する内閣は、議会の信任に基づいて存立する。内閣は、議会の多数派を構成する単独の政党によって組織される場合もあるし、複数の政党によって組織される 2 内閣の場合もあるが、いずれにしても、議会の信任が、内閣存立の前提となっている。もし、議会と内閣とのこうした協働関係が維持できなくなったときは、国民に信を問うことになる。そのため、内閣には議会の解散権が、議会には内閣に対する不信任決議権が与えられている。

さらに、アメリカの大統領制とイギリスの議院内閣制の混合型もある。例えば、ドイツやフランスでは、国家の機関として首相とは別に大統領が存在する。ただし、どちらに実質的な権限があるかという点では、両国の体制は異なっている。このように、混合型はそれぞれの国の歴史や文化の違いによってさまざまである。

現代の世界には、以上のような権力の分立・分散型の政治体制ではなく、権力集中型の政治体制をとる国もある。中華人民共和国やかつてのソ連のような社会主义を標榜する国では、憲法上、国家権力の最高機関に権力が集中しており、それは民主集中制と呼ばれる。また、開発途上国の中には、経済開発を優先して、特定の政党や軍部に権力が集中する開発独裁と呼ばれる体制も見られる。このような体制をとる国では民主主義が軽視されてきたため、近年、経済開発が進展するなかで民主化への要求が高まり、独裁政権が崩壊する事態も現れてきている。

問1 文章中の空欄 1 、 2 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部②に関連して、外見的立憲主義を特徴とする大日本帝国憲法の下では、形式的には権力分立が採用されたが、究極的には統治権のすべてを天皇が総攬する体制となっていた。このことを示す大日本帝国憲法の次の条文中の空欄 **ア**・**イ** に入れるのに最も適当な語句をそれぞれ答えよ。

- 第5条 天皇ハ帝国議会ノ **ア** ヲ以テ立法権ヲ行フ
第37条 凡テ法律ハ帝国議会ノ **ア** ヲ經ルヲ要ス
第55条 国務各大臣ハ天皇ヲ **イ** シ其ノ責ニ任ス

問3 下線部⑤に関連して、アメリカの連邦議会は、大統領を含む連邦官吏が反逆罪などの重大な罪過を犯した場合、下院の訴追に基づいて上院が **A** 裁判を行い、罷免の決定を下すことができる。空欄 **A** に入れるのに最も適当な語句を、漢字2字で答えよ。

問4 下線部⑥に関連して、アメリカの大統領および議会議員の選挙に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 有権者が大統領選挙人を選び、大統領選挙人が大統領を選ぶ。
- ② 大統領は任期4年で、再選は憲法により禁止されている。
- ③ 上院議員は各州の人口に応じて選出され、下院議員は各州から2名ずつ選出される。
- ④ 上院と下院の議員はともに、2年ごとに全員改選される。

問5 下線部⑦に関連して、アメリカの大統領は法案提出権を持たないが、議会に対して法案や予算の審議を促す文書を送付する。この文書を何というか。漢字2字で答えよ。

問6 下線部⑧に関連して、イギリスの政治制度に関する記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 内閣は国王に対してではなく、議会に対して責任を負う。
- ② 下院の第一党の党首が国王によって首相に任命される。
- ③ 国務大臣は、原則として国会議員との兼職が禁止されている。
- ④ 終審裁判所として、近年、最高裁判所が設置された。

問7 下線部⑨に関連して、2010年、イギリスではキャメロンを首班とする内閣が成立したが、この首相の所属政党を答えよ。

問8 下線部⑩に関連して、イギリスでは野党第一党は政権交代に備えて政策を立案する組織を作ることが認められている。この組織は一般に何と呼ばれているか。

問9 下線部①に関連して、世界各国の政治制度に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① フランスの大統領は、国民の直接選挙で選出される。
- ② ドイツの大統領は、首相によって任命される。
- ③ ロシアの大統領は、連邦議会によって選出される。
- ④ 韓国の大統領は、議会によって選出される。

問10 下線部①に関連して、中華人民共和国において、憲法上、国家の最高権力機関とされているものを答えよ。

問11 下線部①に関連して、リビアでは、民主化を求める民衆のデモが武力弾圧を契機に内戦へと発展し、2011年8月、多国籍軍の支援の下で国民暫定評議会を中心とする反体制派の武力攻撃によって独裁政権が崩壊した。このリビアの独裁政権の最高指導者であった人物を答えよ。

政治・経済の問題は次のページに続く。

4 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

日本国憲法は、第4章以降で、国会・内閣・裁判所など、統治機構のあり方について規定している。これらがどのような役割を担っているのかを見ていこう。

立法権を担う国会は、政策を実施する上での柱となる法律を制定する。また国会は、主権者である国民の選挙により選ばれた国會議員から構成されており、このことから憲法上、国会は「國權の最高機関」（第41条）とされ、国政上最も重要な地位を占めている。

行政権を担う内閣は、国会が制定した法律を執行する機関であり、法律の制定目的を具体化させる役割を担う。内閣総理大臣を首長として組織される内閣は、「国会に対し ① して責任を負ふ」（第66条3項）と定められているように、国会の信任に基づいて存立する。

司法権を担う裁判所は、国会の制定した法律に基づいて、権利義務に関する争訟や、さまざまな事項についての適法性の判断を行う。公正な裁判を確保するためには、司法権の独立が不可欠であり、 ②

憲法は「すべて裁判官は、その ③ に従ひ独立してその職権を行ひ、この憲法及び法律にのみ拘束される」（第76条3項）と規定して、裁判官が司法部の内外からの干渉を受けることなく独立して裁判を行うことを保障している。

さらに憲法は、国会・内閣・裁判所の間で抑制と均衡の関係を持たせている。ここに国家権力の恣意的行使を防ぐという立憲主義の理念を見いだすことができる。

問1 文章中の空欄 ①・② に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部④に関連して、衆議院の解散の日から40日以内に衆議院の総選挙が実施されるが、この選挙の日から30日以内に召集される国会を何というか。

問3 下線部⑤に関連して、国会の現状や国会改革に関する次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 2007年の参議院選挙をきっかけに、衆議院では与党が議席の過半数を確保する一方で、参議院では野党が議席の過半数を占める状況が見られるようになった。こうした国会の状況を一般に何と呼ぶか。ひらがな3字で答えよ。

(2) 国会審議活性化法や中央省庁等改革基本法により、国務大臣を補佐するものとして大臣政務官とともに置かれ、大臣の命を受けて大臣不在の場合にその職務を代行する役職を何というか。

問4 下線部④に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 内閣総理大臣や内閣に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① 内閣総理大臣は、国会により、必ず衆議院議員のなかから指名されなければならない。
- ② 内閣総理大臣が国務大臣を罷免するときは、国会の両院で出席議員の3分の2以上の多数による同意を得なければならない。
- ③ 死亡などにより内閣総理大臣が欠けた場合、内閣は総辞職しなければならない。
- ④ 衆議院で内閣不信任決議案が可決されるか、もしくは参議院で内閣総理大臣に対する問責決議案が可決された場合、内閣はただちに総辞職しなければならない。
- (2) 憲法および法律の規定を実施するため、または法律の委任に基づいて内閣が制定する法規範を何というか。漢字2字で答えよ。

問5 下線部④に関連して、日本の裁判制度に関する次の文章中の空欄 A ~ C に入れるのに最も適当な語句の組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

日本では、同一の事件につき原則として三回まで裁判を受けることができる三審制が採用されている。第一審での判決を不服として第二審に上訴することを A 、第二審での判決を不服として第三審に上訴することを B という。また、司法を国民の監視下に置くために、憲法第82条では、裁判の C は必ず公開しなければならないとされている。

- ① A 上告 B 控訴 C 対審
- ② A 上告 B 控訴 C 判決
- ③ A 上告 B 控訴 C 対審と判決
- ④ A 控訴 B 上告 C 対審
- ⑤ A 控訴 B 上告 C 判決
- ⑥ A 控訴 B 上告 C 対審と判決

問 6 下線部②に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 司法権の独立や裁判の公正に関する記述として最も適當なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- ① 裁判官の身分保障を確実なものにするため、憲法では、すべての裁判官の報酬は在任中減額されないことが明記されている。
- ② 職務上著しい非行のあった裁判官は、公安審査委員会の審査に基づき法務大臣が懲戒処分を行う。
- ③ 有罪判決が確定した事件について裁判をやり直す再審制度があるが、これまで再審により無罪判決が下された例はない。
- ④ 国会の両議院は、国政調査権に基づき、裁判所の判決内容の当否について調査することができる。
- (2) 檢察官による不起訴処分が妥当かどうかを審査するために、有権者のなかから無作為に抽出された者で構成される組織を何というか。

問 7 下線部①に関連して、日本の司法のあり方や裁判をめぐる最近の制度改革に関する記述として適當でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 犯罪行為の被害者が、その刑事事件を扱った裁判所に対して、引き続き被告人の犯罪により生じた損害の賠償を命じるよう申し立てができるようになった。
- ② 特許権など知的財産権に関する訴訟を専門的に扱う知的財産高等裁判所が設置された。
- ③ 有権者のなかから無作為に抽出された者が参加する裁判員裁判が、刑事訴訟と民事訴訟の第一審で行われることになった。
- ④ 殺人罪や強盗殺人罪など法定刑の上限が死刑である犯罪について公訴時効が廃止された。

問 8 下線部⑧に関連して、法律・命令などが憲法の規定に適合するかどうかを判断するために裁判所に与えられている権限を答えよ。

政治・経済の問題は次のページに続く。

5 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

第二次世界大戦後の日本経済は、戦後の経済復興期を経て、1950年代前半に戦前の水準を回復した。次いで、1950年代の半ばごろから始まった高度経済成長によって、1968年に日本はアメリカに次ぐ世界第二位の経済大国となった。

1970年代は、石油危機によって経済成長率が大幅に低下したものの、他の先進国に比べて安定した経済成長を実現した。そして、1980年代の半ばには、經常収支の大幅な黒字が続いたことを背景として、日本は世界最大の債権国となり、多額の対外純資産を保有することになった。

1985年のG 5によるいわゆる **1** 合意以降の急激な円高によって、日本経済は一時的に不況となったが、政府の内需拡大政策や日本銀行による金融緩和政策によって、土地や株式などの資産価格が実体経済を超えて急騰するバブル経済がもたらされた。

しかし、1990年代に入ると、土地や株式などの資産価格が急落し、バブル経済は崩壊した。これにより金融機関の債権が回収困難となつたため、大量の **2** 債権が発生し、1990年代後半には、実質経済成長率がマイナスに転じた。**⑦** こうして日本経済は長期にわたる不況に陥り、完全失業率も4パーセント台にまで上昇した。こうしたなかで、**⑧** 物価の下落傾向が続き、景気の足を引っ張ることになった。

景気の悪化に対処するため、日本銀行は、ゼロ金利政策や量的緩和政策といった新たな金融緩和政策を実施し、政府は、規制緩和の推進を中心に景気拡大を図る政策を進めた。その結果、情報通信技術の発展などに伴う新しい産業が生まれたことも手伝って、日本経済は2002年から低成長ながらも長期にわたる景気拡大を実現した。

ところが、2008年にアメリカにおける **3** ローン問題に端を発した世界金融危機が生じ、これによって景気が急激に悪化し、それに続くヨーロッパにおける財政危機や2011年の東日本大震災などによって、日本経済は再び景気の大幅な後退に直面することになった。

問1 文章中の空欄 **1** ~ **3** に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部①に関連して、第二次世界大戦後にG H Qの指令により実施された経済の三大民主化政策のうち、財閥解体と労働民主化以外のものを答えよ。

問3 下線部①に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 高度経済成長の要因として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 海外の最新の技術が積極的に導入され、技術革新がめざましく進んだ。
- ② 家計の高い貯蓄率を背景に、銀行が直接金融方式で企業に多額の資金を貸し出した。
- ③ 政府が産業保護政策を採用するとともに、道路や港湾などの産業関連社会資本の整備を進めた。
- ④ 1ドル＝360円という割安な円の為替レートが、輸出を促進した。

(2) 高度経済成長期において、1965年から70年にかけて57か月間続いた景気の名称を答えよ。

問4 下線部②に関連して、第一次石油危機の要因となった戦争を答えよ。

問5 下線部④に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) 円高をもたらす一般的な要因として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 日本の国内金利が下落する。
- ② 日本の国内物価が上昇する。
- ③ 日本銀行が外国為替市場で円売り介入を行う。
- ④ 日本の经常収支の黒字が拡大する。

(2) 円高の影響に関する次の文章中の空欄 A に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

円高が進行すると、輸出産業の収益が悪化するので、国内の生産拠点を海外に移転する企業が増える。その結果、国内では、雇用機会が減少するなど、産業の A がもたらされることになる。

問6 下線部③に関連して、バブル経済期の日本経済についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 景気が過熱したため、消費者物価が20パーセントを超えて上昇した。
- ② 土地の価格が急騰したため、公共事業のための土地取得が容易となった。
- ③ 消費税率が5パーセントから3パーセントに引き下げられた。
- ④ 不動産や株式の価格が急騰したことにより、消費が刺激された。

問7 下線部①に関連して、第二次世界大戦後、初めて実質経済成長率がマイナスとなった年を答えよ。

問8 下線部⑧に関連して、物価下落の影響に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 債務者の負担が軽くなる。
- ② 企業の売上げが減少する。
- ③ 定額所得者の生活が苦しくなる。
- ④ 国債の保有者が損失を被る。

倫理の問題は次ページから始まる。

倫理

1 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

教師のもっている知識を生徒に伝えることは、教育の重要な機能の一つである。生きていくために膨大な知識や情報が必要な現代社会において、生徒が将来自立した社会人となるためにも、こうした知識の伝達はますます重要性を増している。その一方で、知識を獲得することだけを目的とするなら、現代の情報社会では書物やインターネットなど、教育以外にも様々な手段がある。このような手段で得られる知識の量は、何人かの教師が束になんでも到底かなわないほどである。

しかし、現代社会においても、教師と生徒という関係が意味のないものになってしまったわけではない。歴史をひもといてみれば、哲学者とその弟子、あるいは宗教家とその弟子の関係は、単に一方的な知識の伝達にとどまらないことがよく分かる。それは、現代社会にも、そのまま通用する面がある。

例えば、古代ギリシアのソクラテスは、1法という方法を用いて弟子とともに真理を探求しようとした。ソクラテスの求める知を胎児にたとえるなら、それはソクラテスの体内にあるのではなく、弟子の体内にある。ソクラテスにできるのは、弟子がその胎児、つまり知を産み出すことの手伝いにすぎないというのである。したがって、彼の教育法は、教師と弟子が相互に関わる1法という形式をとりながら、相手の魂の中に眠っている真理を呼び覚ますものであった。これは、同時代のソフィストたちが自己の内にあるすぐれた知識を一方的に弟子へ伝達できると考えていたのとは対照的な方法だった。こうした教育の中からプラトンのような独創的な哲学者が育ち、さらにはアリストテレスなど偉大な哲学者が生まれる土壌が作り出されていったのである。

師と弟子の関係の別な一面は、イエスとその弟子の間に見ることができる。イエスは、ユダヤ教の宗教的伝統から出発しながら、神は「裁きの神」であるだけでなく何よりも「愛の神」であると信じ、神の救いや恵みについての喜ばしき知らせである2が、すでに人々の身近にあると説いた。しかし、イエスは若くして処刑されたため、彼の活動だけでは今日のようなキリスト教の隆盛は望めなかつかもしれない。実際には、今日まで伝えられることになるキリスト教の重要な部分は、イエスの死後に、弟子たちによって発展させられ、布教されていったのである。

例えば、イエスの死と復活の意味は、当然のことながら彼自身によって意義づけられたものではなく、ペテロを中心とする弟子たちによって解釈されたものである。また、イエスの直接の弟子ではないが、もともとパリサイ派のユダヤ教徒だったパウロは、復活したイエスの声を聞いたのを機に回心し、ユダヤ人だけでなく地中海世界の異民族にキリスト教信仰を広げるのに大きな役割を果たした。他の宗教に見られるように、キリスト教もイエスから弟子に伝えられただけでなく、弟子たちによっ

て発展させられた結果、今日のような世界宗教となったのである。

このように歴史を振り返ってみれば、師と弟子が様々な形でともに考え、それぞれが独創性を活かしながら哲学や宗教を発展させてきたことが分かる。ひるがえって、現代の教育も、コンピュータで代行できるような単なる知識の切り売りに終わってはならないのである。

問1 文章中の空欄 1 ・ 2 に入れるのに最も適当な語句を、それぞれ漢字で答えよ。

問2 下線部①に関連して、古代ギリシアの哲学者に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ストア派の祖であるゼノンは、現実に存在する個々のポリスの中でこそ、人間は理想的な生き方を実現できると主張した。
- ② 自然学者のタレスは、万物の根源を追い求めながら、自然界の秩序（コスモス）を成り立たせる神々の理性（ロゴス）を探求しようとした。
- ③ エピクロスは快楽を善であるとしたが、永続する真の快楽は、魂の平安によってもたらされると考えた。
- ④ ピタゴラスは世界が混沌としていると考え、そこに数学的な秩序や法則を見出すことはできないと主張した。

問3 下線部⑤に関連して、ソフィストの思想についての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ソフィストにとって、民族や時代を超えた普遍的な徳（アレーテー）を追求することが、共通の課題であった。
- ② ソフィストは人を説得するための弁論術を教えたので、政治家をめざす多くの若者が競ってそれを学んだ。
- ③ ソフィストは善・悪や正・不正などの区別には絶対的な根拠がないと主張し、相対主義の立場をとった。
- ④ ソフィストは、それ以前の自然学者とは対照的に、人間や社会のあり方を主たる考察の対象とした。

問4 下線部⑥のプラトンについて、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) プラトンは魂を理性・気概・欲望の三つの部分に分け、これらを二頭の馬とその御者にたとえた。ここでいう御者は、他の二つの部分をコントロールして正義を実現する役割を果たすと考えられているが、御者にあたるとされたのは、魂の三つ部分のうちどれか。
- (2) プラトンが、イデアの中でも最高のイデアと考えたのは、何のイデアか。

問 5 下線部④のアリストテレスについて、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) アリストテレスは、正義を全体的正義と部分的正義に分け、さらに部分的正義には二つの種類があると考えた。部分的正義のうち、裁判や取引などにおいて当事者たちの利害・得失が均等になるようにする正義は何と呼ばれるか。
- (2) アリストテレスは、個々の事物から独立した普遍的なイデアを真の実在であるとするプラトンを批判して、事物の本質は現実の個物に内在すると主張し、このような事物の本質とその素材となるものとが結びつくことで個物が現実化するとした。この素材にあたるものを、彼は何と呼んだか。

問 6 下線部⑥に関連して、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の関連や比較に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ユダヤ教とキリスト教はヤハウェのみを神とする一神教だが、イスラーム教ではヤハウェのほかにアッラーも神として信仰の対象となっている。
- ② イスラーム教では、ムハンマドだけでなく、モーセやイエスも神の言葉を伝える預言者であると考えられている。
- ③ ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教は、いずれも民族や国家の違いを超えて広く信仰されるようになったため、世界宗教といわれる。
- ④ ユダヤ教は神の意志である『十戒』、キリスト教は『聖書』、イスラーム教は『クルアーン』を、それぞれ唯一の聖典としている。

問 7 下線部⑦に関連して、イエスの説いた愛（アガペー）は、プラトンの説いた愛（エロース）とどのように異なるか。60字以内で説明せよ。

問 8 下線部⑧に関連して、ペテロの時代の原始キリスト教では、イエスと彼の死はどのように解釈されたか。その内容についての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① イエスは、律法を形式的に守ることを重視したために処刑された。
- ② イエスの死は、人類のための贖罪である。しふざい
- ③ イエスは、神の遣わした救世主である。
- ④ イエスは、この世の終わりに再臨して最後の審判を行う。

問 9 下線部⑨に関連して、キリスト教がローマ帝国に広まったあと、ギリシア哲学における四元徳の上位に、信仰・希望・愛の三元徳を位置づけた教父の名を答えよ。

倫理の問題は次のページに続く。

2 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

6世紀に日本に伝えられたといわれる仏教は、当初、仏の功德によってこの世の災いを除き恵みをもたらすものとして受容され、律令国家成立の過程では、国家の繁栄と安泰を祈念する 1 国家の儀礼や教説として広められた。しかし平安期になると、日本仏教の性格は、徐々に入々の救済という方向に舵を切り始める。その先達の役割を果たしたのが、日本天台宗の開祖として知られる最澄であった。彼は、利他行の実践に生きる菩薩を尊び、慈悲の心を育むことを重んずるとともに、「一切衆生悉有 2」を自らの信念として、生きとし生けるものはみな仏になる可能性をもつことを説いた。そして、出家して僧になろうとする者が授けられる戒を、大乗戒（梵網戒）とすることによって、仏の道を志す人々を広く平等に受け入れようとしたのであった。こうした彼の教えを受け継いだ比叡山延暦寺からは、後に、淨土の教えを広めたり、あるいは鎌倉新仏教を開いた僧たちが次々と巣立っていく。最澄は、しばしば同時代の空海とは対照的に、自らの教説を十分に体系化することはできなかったと評されるが、しかし、それにもかかわらず、彼の教えは後の日本仏教の展開を支える一つの土壌になったといえるだろう。

では、最澄が示した「人々の救済」という方向性は、その後どのような形で展開されたのだろうか。その救済の方向性を、易行という形を通じて徹底させようとしたのが、浄土宗を開いた 3 や、その弟子にあたる親鸞であろう。 3 は、すでに正しい修行も悟りもなく、ただ仏の教えだけが残っているといわれる 4 の時代において、広く人々を救うための「時機相応」の教えとして、誰にでもできる易しい念佛の教えを説いた。そして、それをさらに徹底したのが親鸞の絶対他力の立場であった。

他方、自力を通じた「悟り」の仏教をおしそすめる立場を貫いたのが、日本曹洞宗の開祖、道元 ① である。彼を支えていたのは、「人間は本来、仏の知を備えた存在である」という、かつて最澄が抱いていたものと同様の信念であった。そのうえで彼は、ひたすら坐禅に打ち込み、我執を捨て去ったあるがままの自己に目覚めることを説くのである。

3 や親鸞と、上に述べた道元の立場とは、確かに、「他力」にすがるのか「自力」の修行を重んずるのかをめぐって大きく異なるように見える。しかし、両者は、ともに抜き差しならない苦惱から人々を解き放つことを第一義としていた点において、何ら変わることろがない。いずれの教えも、最澄を淵源とする救済の仏教が、時代を経て、それぞれ独自の道筋をたどりつつ花開いたものといえるだろう。

問1 文章中の空欄 1 ~ 4 に入れるのに最も適当な語句・人名を、それぞれ漢字2字で答えよ。

問2 下線部④に関連して、伝来期から奈良時代にかけての日本仏教に関する記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 伝来当初の仏は、日本の神々が、人々を救済するために仮の姿をとって現れたもの、すなわち權現ごんげんと考えられた。
- ② 聖徳太子は、人も我もともに凡夫であるという自覚を説くなど、仏教の考え方を為政の理念に反映させようと努めた。
- ③ 律令体制下では、僧尼令によって官の許可なく僧となることや民間での布教が禁じられたが、その禁を犯して私度僧となる者もいた。
- ④ 南都六宗は、後世の宗派に比べると、教理の研究に重きを置く学派としての性格が強く、諸宗兼学が奨励された。

問3 下線部⑤に関連して、『往生要集』を著し、汚れたこの世を厭い離れいとおんりえど（厭離穢土）、念佛につとめて極楽浄土に往生することを願い求めること（欣求浄土）を説いた天台宗の僧を答えよ。

問4 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 鎌倉新仏教の祖師の一人である日蓮は、ある著作において、『法華経』こそが真なる經典であるとし、人々がこれに帰依することにより国家の安泰が達成されると説いた。その著作を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
 - ① 『正法眼藏』
 - ② 『興禪護國論』
 - ③ 『歎異抄』
 - ④ 『立正安國論』
- (2) 時宗の開祖であり、念佛を称えれば誰でも往生できることを説きつつ、念佛札を配り、諸国を遊行した人物を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
 - ① 行基
 - ② 鑑真
 - ③ 栄西
 - ④ 一遍

問5 下線部⑦に関連して、仏教における無常の考え方は、後に、まわる移ろい行くものの中に美しさを見出したり、簡素なものの中に美しさを見出すような日本独特の美意識を育んだといわれる。こうした美意識のうち、千利休が自らの茶の湯（茶道）の理想とした、世俗の虚飾や奢りを捨てた閑寂な境地を何というか。ひらがな2字で答えよ。

問6 下線部⑧に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 親鸞の説く絶対他力の教えについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。
 - ① 人は三密の行を修することによって、深い瞑想の中で大日如来と一体化し、生きているその身のままで仏となることができる。
 - ② 他の一切の修行を捨て、阿弥陀仏の慈悲を信じて、ひたすら念佛を称えることが、凡夫が極楽往生するための唯一の手段であり、修行である。
 - ③ 世間はむなしく、ただ仏だけが真実であることに目覚め、「南無妙法蓮華経」という七字の題目を唱えることが、救いに至る道である。

- ④ 阿弥陀仏の本願を信じて、ひたすら阿弥陀仏にすがれば、その慈悲の力によって極楽淨土に往生することができる。
- (2) 親鸞は、自分の力では煩惱から逃れることができないと自覚している者こそが、阿弥陀仏による真正の救いの対象であると説いた。親鸞のこうした考え方を何というか。

問7 下線部①に関連して、次の文章は、道元が『典座教訓』において中国留学時のエピソードについて述べたことを要約・解釈したものである。この文章の趣旨から判断して、空欄 A に入れるのに最も適当なものを、下の①~④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

かつて、道元が中国（宋）に留学僧として滞在し天童山で修行していた頃、仏殿の前で汗を滴らせながら食用の苔を干している年老いた典座（修行僧のために食事を用意する役割を担った僧）に出会った。道元が、思わず「なぜ下働きの者を使わないのか」と聞くと、その老典座は「自分がすべき修行を他人にもらつたのでは意味がないではないか」と答えた。道元が重ねて「それではもう少し涼しくなってからご用事を果たされては」と尋ねると、その老典座は、すかさず「今がいちばん適した時刻だ。今やらずに、何時すべきだというのか」と答えた。

この老典座とのやり取りに、道元は深い感銘を受けたという。

食を整えるという日常の作務は、ひるがえって、他の生き物の命を犠牲にする行為でもある。しかし、その行為がなければ、修行僧たちの露命をつなぐことはできない。A。日常の行為が押し並べて禅につながる修行となるという道元の考えは、こうした経験に基づいている。

- ① 日常の作務は、下働きの者に任せればよいのであり、修行僧はひたすら坐禅に集中し、公案を工夫することに努めなければならない
- ② 日常の作務が矛盾をはらんでいることに気づくことなく、ただ愚直に自らの職務に従事することは、禅の修行をするよりも大切なことである
- ③ 日常の作務がはらむ矛盾に向き合いつつ、それゆえに一層心をこめ、自分たちの命を支えてくれるものに感謝しつつ作務に専念すること自体が立派な修行になる
- ④ 日常の作務を引き受け、自らの修行の時間を犠牲にすることによって他の若い修行僧たちを助けてやれば、それが利他行となる

問8 下線部⑧のように、道元は、ひたすら坐禅に打ち込み、我執から解き放たれた真実の自己に目覚めた姿こそが、そのまま悟りの姿であると考えた。このように、坐禅の修行と悟りの体得は不二一体であるという考え方を何というか。漢字4字で答えよ。

倫理の問題は次のページに続く。

③ 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～8）に答えよ。（配点 20点）

私たちは、各人が自らの理性を頼りに生きていると思っている。こうした近代的な考え方は、どのように形成されてきたのかをルネサンスにまで遡って考えてみよう。

ヨーロッパにおいては、ルネサンスの運動を通じて、古代ギリシアの生き生きとした人間像が復活し、芸術や学問など様々な面で才能を發揮する人間が理想とされた。ルネサンスの人文主義者たちは、中世的な神中心の世界観から自由になって、人間を世界の中心に据えたヒューマニズムを開いた。ルネサンスが近代の幕開けを告げたといわれるのもそのためである。そして、彼らの中には人間中心の考え方に基づいて教会の権威を批判する者もいた。ただし、そうした人々であっても、教会そのものを否定したわけではないということには注意しなければならない。

ルネサンスが産み落とした自由な批判精神は、やがて、民衆を含む全階層を巻き込み、ヨーロッパ社会の根底を揺るがすことになる大きな運動に影響を与えた。ルターに始まる宗教改革がそれである。この運動はルネサンスの自由な批判精神を受け継ぎつつ、さらに歩を進めてカトリック教会の存在意義そのものを否定する運動として展開されていった。ルターらは、人は教会が執り行う儀式や教会の説く善行によってではなく、個々人の信仰によってのみ神に触れることができるとすることで、「教会の権威」に対する「神の権威」の絶対性を強調したのである。しかし、このような二つの「権威」の対立は、プロテstantとカトリックの間の悲惨な宗教戦争を巻き起こすことになる。この宗教戦争は、プロテstantの側から見れば、カトリック的な統治や支配から人間を解放するという意味をもってはいたが、それは人間の尊厳を自由意志に求めるという考えに基づくものではなかった。その意味で、宗教改革は、ルネサンスがめざしたヒューマニズムを開花させるものではなかったといえる。

ルネサンスがめざしたヒューマニズムが花開くには、啓蒙主義の時代を待たなければならなかつた。啓蒙主義とは、人間の「理性の光」によって封建的な因習や迷信を批判し、合理的なもの実現をめざす思想的な立場を指す。やや象徴的にいえば、啓蒙主義において、ルネサンスがめざしたヒューマニズムと近代的な理性とが時代を超えて結びついたのである。私たちはここに、冒頭で触れた近代的な考え方の源泉を見出すことができる。しかし、理性を過度に重視する傾向に対しては、特に19世紀以降、様々な形で批判が展開されるようになるということも忘れてはならないだろう。

問1 下線部②に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) ルネサンス期において盛んに用いられるようになった絵画の技法で、人間中心主義を示しているとされるものを答えよ。
- (2) 演説草稿『人間の尊厳について』において、自然是定められた法則に縛られているが、人間だけは自らの自由意志によって何者にでもなることができるよう神によって創られていると述べ、そこにこそ人間の尊厳があると説いた人物は誰か。

問2 下線部⑤に関連して、ルネサンス期に活躍した人物に関する次のア～ウの記述について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ア ポッカチオは、主著『デカメロン』において、人間の自然な欲望をありのままに描写し、聖職者の偽善などを風刺した。
- イ カンパネラは、主著『ユートピア』において、財産の共有を基礎とする理想社会を描き、現実社会を批判した。
- ウ ダンテは、叙事詩『神曲』において、苦悩する作者の魂が地獄・煉獄を経て罪から浄化され、天国に救われるまでの旅を描き出した。

- | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ① ア 正 | イ 正 | ウ 正 | ② ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | ④ ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ ア 誤 | イ 正 | ウ 正 | ⑥ ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | ⑧ ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問3 下線部③に関連して、ルネサンス期には、あらゆる分野で自らの能力を全面的に発揮する人が理想とされた。こうした人のあり方は、一般に何と呼ばれるか。

問4 下線部④に関連して、政治思想家マキアヴェリは、政治と宗教・道徳とを明確に区別すべきであると主張するとともに、ある著作において、国家の維持・発展を図るために、統治者は「^が狼を見抜くという点ではキツネでなくてはならず、狼の度肝を抜くという点ではライオンでなければならない」と説いた。その著作を、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- | | |
|-------------|------------|
| ① 『95か条の論題』 | ② 『市民政府二論』 |
| ③ 『神の国』 | ④ 『君主論』 |

問 5 下線部⑥に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) ルターの思想についての記述として最も適當なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

① 信仰における自由意志を重んじ、人間の自由意志は生まれながらに負っている原罪によつて歪められているとする考えを批判した。

② 『聖書』のみに神的権威を認めて当時の教会制度を批判し、『聖書』を扱り所にした信者の集まりに理想の信仰生活があると説いた。

③ 人が罪を赦されるためには、自己の内面的な信仰に加えて、一般信徒とは区別された聖職者の介在が必要であると説いた。

④ 厳格な規律に従う修道会を組織し、靈操と呼ばれる靈性修行の実践によって神との出会いに目覚めることの重要性を説いた。

(2) カルヴァンは、世俗の職業について、当時としては革新的な主張を行ったといわれる。それはどのようなものか。30字以内で説明せよ。

問 6 下線部⑦に関連して、悲惨な宗教戦争（ユグノー戦争）の経験から、こうした悲惨さが生じる原因是、自己反省の欠如から生まれる偏見、独断、傲慢、不寛容などにあると考え、「私は何を知っているか（ク・セ・ジュ）」をモットーに懷疑の精神をつらぬこうとした思想家を答えよ。

問 7 下線部⑧に関連して、パスカルは、人間の思考の偉大さは物事を客觀化し理論的に分析していく「幾何学的精神」だけにあるのではなく、むしろ、人生で出会う複雑な事象の意味を直觀的に把握しようとする「A の精神」にあると考えた。空欄Aに入れるのに最も適當な語句を答えよ。

問 8 下線部⑨に関連して、近代的な理性を問い合わせた思想の一つに、実存主義がある。実存主義の哲学者ニーチェは、現実の世界が意味のないことの永遠の繰り返しにすぎないことを運命として受け、本源的な生命力（力への意志）に従ってたくましく生きる人間のことを何と呼んだか。

倫理の問題は次のページに続く。

4 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

近年、「風評被害」という言葉を耳にすることが多くなった。風評被害とは、ある事件や事故が報道されることによって、本来は安全とされる商品や企業を人々が危険視し、消費や取引を敬遠することによって引き起こされる経済的被害をいう。
①

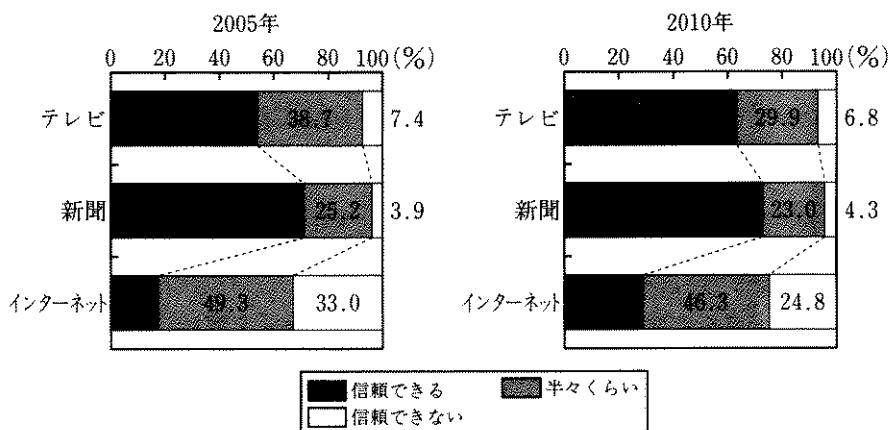
情報化が進展した現代社会における風評被害は、マスメディア、特に報道メディアの影響が大きい。例えば、ある工場で起きた事故が原因となり、その周辺地域の農産物から有害物質が比較的多く検出された場合、その特定地域の農産物に関する報道が近隣地域の農産物の売れ行きにまで悪影響を及ぼすことがある。つまり、報道のあり方しだいで、一部の地域で起きた問題がより広範囲の地域にまで一般化され、その結果、視聴者などが一面的な判断を下す傾向を強めることにつながるのである。

高度に情報通信技術が発達した今日の社会状況において、こうした危険性に対抗するためには、人々が多元的な情報接触を図り、入手した情報を取捨選択する能力を高めていくこと、そして、マスメディアの情報提供に対して、客観性、正確性、開示性を強く求める主体性を保持することが求められる。そうすることによって、「この商品は風評被害を受けているが、安全であるから消費しても大丈夫」といった見極めのできる賢い視聴者（賢い消費者）となることも可能である。風評被害の発生を避けることは容易ではないが、情報社会の特質を深く理解することが、その被害の深刻化を抑制するカギとなるのではないだろうか。
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨

問1 下線部②に関連して、巨大で複雑な組織では、上意下達の指揮命令系統や、規則による職務の配分といった諸原則を特色とする合理的な管理・運営のシステムが見られる。このようなシステムを、ドイツの社会学者マックス・ウェーバーは何と呼んだか。

問2 下線部⑥に関連して、次の図はテレビ、新聞、インターネットの三つの情報メディアについて、情報源としての信頼性を調査した結果である。この図についての説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

図 情報源としての信頼性



(総務省『情報通信白書』平成23年版により作成)

- ① 三つの情報メディアのいずれにおいても、2010年に「信頼できない」と答えた人の割合は2005年と比べて高くなっている。
- ② 三つの情報メディアのうち、2010年に「信頼できる」と答えた人の割合が2005年と比べて高くなっているのは、インターネットのみである。
- ③ どちらの年においても、インターネットを「信頼できる」と答えた人の割合は、テレビを「信頼できる」と答えた人の割合の半分にも満たない。
- ④ インターネットについて見ると、どちらの年においても、「信頼できない」と答えた人の割合が「信頼できる」と答えた人の割合を上回っている。

問3 下線部②に関連して、20世紀以降の社会や人間の特質に関する記述として適当でないものを、

次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① リースマンは、著作『孤独な群衆』の中で、現代人は同時代の他者の意見や行動に影響されることなく自己の行動を決定する傾向があると指摘し、こうした現代社会に支配的な人間の性格類型を内部指向型と呼んだ。
- ② アドルノは、ナチスを支持した当時のドイツの国民には、権力をもった強者に服従する一方で、弱者に対しては尊大に振舞おうとする社会的性格があることを指摘した。
- ③ フロムは、社会の束縛から解放されて自由を得た現代人が、その自由によってもたらされる孤独や不安に耐えかね、強力な指導者に服従することで自由から逃れようとする心理的傾向をもつと指摘した。
- ④ ヴェイユは、自らの工場労働の体験をもとに『工場日記』を著し、労働者が機械の歯車の一部に組み込まれることによって、自由な思考を特徴とする人間の尊厳が奪われていることを指摘した。

問4 下線部④に関連して、特定の対象や出来事について、ある社会集団の中で広く受容されている、単純化され、固定化された観念・イメージを何というか。カタカナで答えよ。

問5 下線部⑤に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 地球規模に広がった情報ネットワーク、特にインターネットの急速な普及は、時間と空間の壁を克服したといえる。こうした情報通信技術を意味する英語の略称を何というか。アルファベットで答えよ。
- (2) 「神の遍在」というキリスト教神学における概念を転用し、コンピュータやインターネットを使って、いつでも、どこでも、だれでも情報ネットワークに接続できる社会のことを
A ・ネットワーク社会と呼ぶことがある。空欄 A に入れるのに最も適当な語句を、カタカナで答えよ。

問 6 下線部⑥に関連して、現代社会は、都市化や産業化の進行、マスメディアの発達などによって成立した大衆社会である。大衆社会や大衆民主主義の一般的な特徴についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 大衆社会では、それ以前の社会に比べ、地縁集団の社会的連帯感が強く、緊密な人間関係が見られる。
- ② 現代の大衆社会では、人々の消費の欲望が、生産者側の広告や宣伝によって作り出されることはない。
- ③ 大衆民主主義は、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を与える普通選挙制度の普及が契機となって成立したといわれる。
- ④ 大衆民主主義の下では、大衆が豊富な政治的知識をもっているので、特定の支持政党をもたない無党派層が生まれることはない。

問 7 下線部⑦に関連して、インターネットなどを通じて得た情報をそのまま鵜呑みにするのではなく、それを主体的に選び取り、活用することができる能力のこと何というか。カタカナで答えよ。

問 8 下線部⑧に関連して、国民の「知る権利」を具体化し、国や地方自治体の行政機関が保有する公的な情報を自由に入手できるように保障する制度を何というか。

問 9 下線部⑨に関連して、情報通信技術の発達に伴い、年齢・能力・経済力などの差異によって、入手可能な情報の量や質に差が生まれ、さらなる経済的・社会的格差の拡大につながることが考えられる。このような格差を何というか。カタカナで答えよ。

5 次の文章を読んで、後の問い合わせ（問1～9）に答えよ。（配点 20点）

① 青年期になると、人は自己自身と真剣に向き合うようになる。それまで自分を庇護してくれていた両親や周りの大人から一定の距離を置いて、自己を見つめ直し、これからの生き方について思い悩むようになる。一つ前の発達段階である児童期には、多くの仲間と様々な経験を積み重ね自己の世界を拡げていくが、自らのあり方を根本的に問うことはないだろう。しかし、青年期は、他人と自分とを比較し、自身の容姿や性格、異性、進路、将来などについてあれこれと思い悩むことが多くなる。時には、過度な不安や劣等感に陥り、自分を見失ってしまうこともある。

② 青年期における重要な課題の一つは、こうした不安定な状態を解消し、ある程度安定した自己像を築き上げていくことにある。アメリカの心理学者エリクソンは、こうした青年期の発達課題を

1 の確立と呼んだ。

それでは、安定した自己像とは何か。そのことについてさらに踏み込んで考えてみよう。私たちは多くの可能性をもって生まれてきた。しかし通常は、それらすべてを開花させ、それを通じて社会に貢献できるわけではない。私たちは、日々の選択を通じて、自己の可能性の中からいくつかを選び取り、それらを磨き上げていく必要がある。そのようにして獲得した職業や仕事は、生活の糧を得るだけでなく、自己の才能を社会において実現する場の一つとなりうるという意味で重要である。私たちは社会の中で生活を営んでいるのであり、社会との関わりを抜きにして、人間としての自己形成はありえない。したがって、青年が自己について思索をめぐらし、安定した自己像を確立するという課題は、社会における自己の役割をどのように描いていくかという課題、すなわち職業の選択という課題と分かちがたく結びついているのである。

改めてこんなことをいうと、身構えてしまうかもしれない。しかし、それほど難しく考える必要はない。要は、社会において、自分が何をやりたいか、何にやりがいを感じるか、ということを真剣に考えていけばよいのである。

問1 文章中の空欄 1 に入れるのに最も適当な語句を答えよ。

問2 下線部②に関連して、青年や青年期の特徴についての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ① ルソーは、青年期は親などへの依存から脱却して精神的に自立しようとする時期であるとして、青年期を「第二の誕生」の時期であるとした。
- ② レヴィンは、青年を、もはや子どもとはいえないが大人になりきっているわけでもないという意味で「マージナル・マン」と呼んだ。
- ③ 青年は仲間に対する帰属意識が強く、集団で徒党を組んで行動することが多いことから、青年期を「ギャングエイジ」と呼ぶことがある。
- ④ 青年は理想の自分と現実の自分との矛盾に悩むなど、感情が激しく揺れ動く傾向があることから、青年期を「疾風怒濤の時期」と呼ぶことがある。

問3 下線部⑥に関連する次のア～ウの記述について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、以下の①～⑧のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- ア スイスの心理学者ユングは、心的エネルギーが外界と内面のどちらに向かいやすいかによって、人間の性格を外向型と内向型の二つに類型化した。
- イ ドイツの精神医学者クレッチャーは、人生における価値を何に見出すかによって、人間の性格を理論型、経済型、審美型など六つに類型化した。
- ウ ドイツの哲学者シュプリンガーは、体型と気質との関係に着目し、人間の気質を躁うつ気質（循環気質）、分裂気質などに分類した。

- | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ① ア 正 | イ 正 | ウ 正 | ② ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | ④ ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ ア 誤 | イ 正 | ウ 正 | ⑥ ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | ⑧ ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問4 下線部⑦に関連して、次の(1)・(2)に答えよ。

- (1) 欲求不満などが高じたとき、無意識のうちに心の安定を取り戻そうとするメカニズムが働くが、こうした自我防衛のメカニズムを防衛機制という。この防衛機制のうち、自分の失敗や力不足を、もっともらしい理由をつけて正当化することを何というか。
- (2) 精神分析学の創始者といわれ、『精神分析学入門』などにおいて、人間の行動の根底には無意識の衝動が潜んでいることを解明した精神医学者を答えよ。

問5 下線部⑦に関連して、『実践理性批判』などを著したドイツの哲学者で、人間は、動物とは異なり、自らの内なる理性によって打ち立てた道徳法則に、自らすんで従うことができる自律的自由を有していると説いた人物を答えよ。

問6 下線部⑥に関連する次の記述ア～ウのうち、適當なものを過不足なく選び、その組合せとして最も適當なものを、下の①～⑦のうちから一つ選び、番号で答えよ。

ア 学生が、興味や関心のある職業に関して、学校に在籍したまま企業などで実際に体験し理解を深める制度をインターンシップという。

イ 将来の目標を見失い、定職に就かず、当座の生活を維持するためだけにアルバイトを続いている人をニートという。

ウ 社会人が、知識や技能を高めるために再び大学などに入学し、より専門的な立場に立って学び直す仕組みをリカレント教育という。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ アとイ
⑤ アとウ ⑥ イとウ ⑦ アとイとウ

問7 下線部⑦に関連して、フランスの実存主義の哲学者サルトルは、人間には自己の生き方を自ら選ぶ自由があるが、それには社会や全人類に対する責任が伴うと主張し、社会参加の重要性について説いた。この「社会参加」のことを、サルトルは何と呼んだか。カタカナで答えよ。

問8 下線部⑧に関連して、フランスの哲学者ベルクソンは、人間が道具を使用して自然に対して積極的な働きかけを行うことに着目して、人間をどのように定義したか。

問9 下線部⑨に関連して、アメリカの心理学者マズローは、人間の欲求は階層をなしており、下位の欠乏欲求が満たされて初めて上位の欲求が生じると説いた。この欲求階層のうち、マズローが最上位に位置づけた欲求は何か。漢字で答えよ。

© Kawaijuku 2012 Printed in Japan

無断転載複写禁止・譲渡禁止